

# 市街地加速走行騒音有効防止後付消音器の 性能等確認業務規程

2019年5月1日

一般財団法人 日本自動車研究所

制定 2019年 5月 1日

## 市街地加速走行騒音有効防止後付消音器の性能等確認業務規程

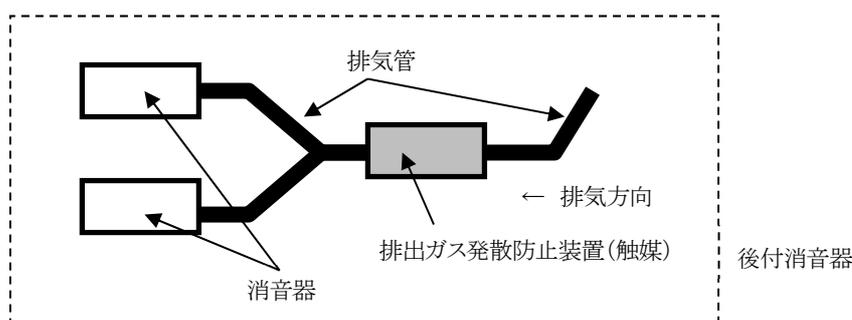
## 1. 趣旨

この市街地加速走行騒音有効防止後付消音器の性能等確認業務規程（以下「業務規程」という。）は、一般財団法人日本自動車研究所（以下「研究所」という。）が後付消音器の性能等を確認する業務について必要な事項を定めるものである。

## 2. 用語の定義

この業務規程における用語は、道路運送車両法（昭和 26 年法律第 185 号）及び同法に基づく命令において使用する用語の例によるほか、次の各項に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各項に定めるところによる。

- (1) 保安基準 道路運送車両の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）をいう。
- (2) 細目告示 道路運送車両の保安基準の細目を定める告示（平成 14 年国土交通省告示第 619 号）をいう。
- (3) 協定規則 車両並びに車両への取付又は車両における使用が可能な装置及び部品に係る統一的な技術上の要件の採択並びにこれらの要件に基づいて行われる認定の相互承認のための条件に関する協定（平成 10 年条約第 12 号）に付属する規則をいう。
- (4) 自動車等 自動車（大型特殊自動車及び小型特殊自動車を除く。）又は原動機付自転車をいう。
- (5) 後付消音器 次に掲げる消音器以外の消音器をいう。
  - ① 指定自動車等（細目告示第 2 条第 1 号に定めるものをいう。）に備えられている消音器（当該消音器と同一のものであって、補給部品として使用されるものを含む。）
  - ② 大型特殊自動車及び小型特殊自動車に備えられている消音器
- (6) 後付消音器の各部分の名称を次のとおり定義する。



- (7) 車両識別番号 (VIN) ISO 規格 (ISO 3779) 等に基づき個々の車両を識別する目的で、ローマ字又は数字を組み合わせて表示する 17 桁の番号をいう。
- (8) 公的試験機関 公的に試験成績表等を交付した実績を有する機関をいう。

## 3. 適用範囲

自動車等に備える後付消音器の性能等の確認（以下「性能等確認」という。）については、細目告示及び細目告示別添 112 の II（市街地加速走行騒音有効防止後付消音器の技術基準）によるほか、本業務規程によるものとする。

#### 4. 性能等確認業務の種類及び内容

研究所は、別添 1 に定める種類の業務を行うこととする。

#### 5. 性能等確認の申請者

性能等確認の申請は、後付消音器を製作することを業とする者、又はその者から後付消音器を購入する契約を締結している者であって当該後付消音器を販売することを業とする者（外国において本邦に輸出される後付消音器を製作することを業とする者、又はその者から当該後付消音器を購入する契約を締結している者であって、当該後付消音器を本邦に輸出することを業とする者を含む。以下「確認申請者」という。）が行うこととする。

#### 6. 後付消音器の区別

確認申請者は、後付消音器を少なくとも次の項目が異なる毎に区別すること。

- (1) 消音器の基本構造、容量、個数及び配列
- (2) 排出ガス低減装置（触媒）の有無
- (3) 排気管の形状（曲がり等）
- (4) 材料

#### 7. 性能等確認の申請書

確認申請者は、研究所に対し、第 1 号様式による性能等確認申請書及び別表第 1 に掲げる添付書面を提出すること。

#### 8. 自動車等及び後付消音器の提示

確認申請者は、研究所に対し、申請に係る後付消音器を備える自動車等であって測定に影響のある改造を施していないもので、かつ、当該自動車等の製作者が定める必要な点検整備を適切に実施したもの（以下単に「試験自動車」という。）を提示すること。なお、公的試験機関が交付した証明書により、第 9 条の基準への適合を確認する場合は、試験自動車の提示は不要とする。

#### 9. 騒音防止性能の確認

性能等確認の申請に対し、研究所は、別添 2 に定めるところにより、申請に係る後付消音器の騒音防止性能を確認する。

#### 10. 構造の確認

性能等確認の申請に対し、研究所は、申請に係る消音器の構造が別添 4 に定める構造基準に適合するものであることを申請書及び別表第 1 第 2 項に定める添付書面に基づき確認する。

#### 11. 品質及び性能等確認済表示の管理体制の確認

性能等確認の申請に対し、研究所は、申請に係る後付消音器の製作に関して確認申請者が別添 5 に定める品質及び性能等確認済表示の管理体制を有することを申請書並びに別表第 1 第 3 項、第 4 項及び第 5 項に定める添付書面に基づき確認する。

## 12. 性能等確認済表示の表示位置等の確認

性能等確認の申請に対し、研究所は、申請に係る後付消音器の性能等確認済表示の表示位置等が次に掲げる事項を満足することを申請書及び別表第 1 第 6 項に定める添付書面等に基づき確認する。

- (1) 性能等確認済表示は消音器に表示されていること。ただし、複数の消音器が一つの部品として一体となっている場合は、いずれかの消音器に表示されていればよい。
- (2) 性能等確認済表示は、消音器を自動車等に取り付けた状態で容易に目視しうる位置に、容易に破損・滅失等しない方法（鋳出し、刻印又は金属プレートの固着等）により表示されていること。

## 13. 取り付けることができる自動車等の範囲の確認

取り付けることができる自動車等の範囲を限定する後付消音器の性能等確認の申請にあつては、研究所は、申請書及び別表第 1 第 7 項に定める添付書面に基づきその範囲を確認する。

## 14. 性能等確認結果の通知等

- (1) 研究所は、申請に係る後付消音器が第 9 条から第 12 条に規定する基準に適合していることを確認したときは、当該確認申請者に対してその旨及び当該後付消音器と同一のものに付すことができる性能等確認済表示の内容を通知し、試験成績表を交付する。
- (2) 研究所は、申請に係る後付消音器が第 9 条から第 12 条に規定する基準に適合していないことを確認したときは、当該確認申請者に対してその旨を通知し、試験成績表を交付する。通知後に、確認申請者が再び同一の後付消音器の性能等確認を求める場合には、新たな確認業務として取り扱うこととする。
- (3) 性能等確認結果の通知は、第 7 号様式に定めるところによる。
- (4) 性能等確認済表示は、第 8 号様式に定めるところによる。
- (5) 試験成績表は、第 9 号様式又は第 10 号様式に定めるところによる。
- (6) 研究所は、通知した性能等確認済表示を適切に管理することとする。

## 15. 性能等確認結果の再交付

研究所は、確認申請者から性能等確認結果の紛失又は汚損若しくは毀損を理由に再交付の依頼があつた場合は次により行うこととする。

- (1) 確認申請者は、性能等確認結果の再交付を請求しようとするときは、第 11 号様式による再交付申請書を研究所に提出しなければならない。
- (2) 研究所は、前項の再交付申請を適当と認めるときは、申請を受け、性能等確認結果の再交付を行うこととする。

## 16. 確認済後付消音器製作者等の義務

- (1) 第 14 条に規定する性能等確認済表示の内容の通知を受けた確認申請者（以下「確認済後付消音器製作者等」という。）は、当該後付消音器と同一のものを製作したときは、当該性能等確認済表示を行うことができる。
- (2) 性能等確認済表示は、次により行うこととする。
  - ① 性能等確認済表示は消音器に表示することとする。ただし、複数の消音器が一つの部品として

一体となっている場合は、いずれかの消音器に行えばよい。

- ② 性能等確認済表示は、当該後付消音器を自動車等に取り付けた状態で容易に目視しうる位置に、容易に破損・滅失等しない方法（鋳出し、刻印又は金属プレートの固着等）により表示しなければならない。
- (3) 確認済後付消音器製作者等は、性能等確認済表示を行う後付消音器を製作する場合には、申請に当たって提出した品質管理体制を遵守し、確認を受けた後付消音器と同じ性能を有するように適切に品質管理を行わなければならない。
- (4) 確認済後付消音器製作者等は、確認を受けた後付消音器以外に性能等確認済表示を行ってはならない。また、性能等確認済表示を行う後付消音器を製作する場合には、申請に当たって提出した性能等確認済表示の管理体制を遵守し、第三者による性能等確認済表示の不正表示の防止に努めなければならない。
- (5) 確認済後付消音器製作者等は、取り付けることができる自動車等の範囲を限定する後付消音器について確認を受けた場合にあつては、当該後付消音器の販売に当たり、取付業者及び自動車等の所有者並びに使用者に対し、装着可能な自動車等を特定する情報を適切に提供しなければならない。
- (6) 確認済後付消音器製作者等は、確認を受けた後付消音器に係る不具合の情報について保管するように努めなければならない。

## 17. 公表等

- (1) 研究所は、性能等確認の結果、後付消音器の性能等が第 9 条から第 12 条に規定する基準に適合することを確認したときは、当該後付消音器に係る性能等確認済表示を決定し、確認申請者に通知するとともに、速やかに次に掲げる事項をインターネットの利用その他の適切な方法により公表することとする。
  - ① 確認申請者（確認済後付消音器製作者等）の氏名又は名称及び連絡先
  - ② 性能等確認済表示の内容
- (2) 研究所は、前項の公表を行った後付消音器について、確認済後付消音器製作者等から第 18 条(7)項に定める製作等廃止届の提出があつたときには、速やかにその旨をインターネットの利用その他の適切な方法により公表することとする。

## 18. 変更等の確認及び届出

- (1) 確認済後付消音器製作者等は、第 7 条に規定する添付書面のうち別表第 1 第 2 項、第 5 項、第 6 項、第 7 項及び第 10 項に掲げる書面の記載事項を変更する場合には、第 2 号様式による変更確認申請書及び変更に関する資料を研究所に提出し、その変更の確認（以下「変更確認」という。）を申請することができる。この場合において、当該変更に関する資料については、後付消音器の性能等確認申請書の添付書面に準ずるものとする。
- (2) (1)項の変更確認は、当該変更に係る後付消音器が性能等確認を受けたものと同一と認められる場合に行う。
- (3) 研究所は、(1)項及び(2)項を確認したうえ当該変更に係る後付消音器に性能等確認済表示を認めることとする。

- (4) 研究所は、変更確認に関し必要があると認められるときは、(1)項の確認申請者に対し、当該申請に係る後付消音器を備えた自動車等の提示並びに第9条に規定する騒音防止性能の確認に係る試験を求めることができることとする。
- (5) 確認済後付消音器製作者等は、第7条に規定する申請書及び添付書面の記載事項のうち(1)項に掲げる変更確認に係る事項以外のものについて変更した場合には、第3号様式による変更届出書及び変更に関する資料を遅滞なく研究所に提出すること。
- (6) 確認済後付消音器製作者等は、確認を受けた後付消音器について、変更確認申請書及び変更届出書を同時に提出しようとするときは、変更確認申請書に変更届出に係る変更内容を記載することにより変更届出書の提出を省略することができる。
- (7) 確認済後付消音器製作者等が、確認を受けた後付消音器の製作者等でなくなったときは、第4号様式による製作等廃止届を遅滞なく研究所に提出すること。

#### 19. 申請の受付及び確認日程並びに手数料等

- (1) 研究所は、インターネット等により性能等確認業務に関する情報を公開することとし、確認申請者は、公開された情報に基づき確認業務の予約手続きを行うこととする。
- (2) 研究所は、確認申請者からの予約手続きを受け、申請書及び添付書面の提出に関する事項、手数料の収納に関する事項、確認業務の実施予定日（別添1第1号(1)項による場合には、試験自動車の搬入日時、試験自動車の準備予定日、試験予定日、試験予備日及び試験自動車の搬出日時）及び実施場所等を確認申請者に通知することとする。
- (3) 確認申請者は、(2)項の通知の内容に従い、申請書及び添付書面を提出すると共に、別添8に定める額の手数料を納付することとする。この場合において、振り込み手数料は確認申請者が負担しなければならない。
- (4) 研究所は、申請書及び添付書面の記載に不備がないこと並びに手数料が納付されたことを確認のうえ申請を受け付けることとする。  
 なお、提出のあった申請書及び添付書面により十分確認を行うことができない場合は、別途必要となる資料を求めることができることとし、当該資料の提出があった時点で申請を受け付けることとする。  
 また、申請の受付後には、納付された手数料は返還しないこととする。
- (5) 研究所は、確認期間（申請の受け付けから性能等確認結果の通知までの期間）を原則として概ね12週間程度で処理することとする。  
 なお、性能等確認に係る試験が発生しない場合には、確認期間を原則として概ね2週間程度で処理することとする。

#### 20. 性能等確認の場所

- (1) 性能等確認に係る試験のうち別添1第1号(1)項による場合には、次の場所で行うこととする。  
 一般財団法人日本自動車研究所 城里テストセンター 走行音試験路面（JIS D 8301-2013（ISO 10844-2014）準拠）  
 茨城県東茨城郡城里町大字小坂字高辺多 1328 番 23 号
- (2) 性能等確認に係る試験のうち別添1第1号(2)項による場合には、同別添第2号により申し出の

あった場所(前項に定める場所と同等であると研究所が認めた場合に限る。)で行うこととする。

## 21. 性能等確認の中止

確認申請者は、試験自動車の整備状況その他の理由により確認業務の中止を求めるときは、速やかにその旨を研究所に連絡しなければならない。

また、次のいずれかに該当する場合(性能等確認に係る試験が発生しないときには、(1)項及び(2)項に限る。)には確認業務を中止することとし、研究所は確認申請者に対してその旨を通知する。この通知以降に確認申請者が再び性能等確認を求めるときには、新たな確認業務として取り扱うこととする。

- (1) 通知した日時までに性能等確認の申請書及び添付書面が提出されなかったとき
- (2) 通知した日時までに性能等確認の手数料が振り込まれなかったとき
- (3) 通知した日時までに申請に係る後付消音器を備える試験自動車が提示されなかったとき(第9条(1)項及び(2)項により騒音防止性能を確認する場合(別添1第1号(3)項による場合を除く。)に限る。)
- (4) 提示された試験自動車又は後付消音器の諸元が、提出された書面に記載されている事項と相違しているとき
- (5) 提示された試験自動車及び後付消音器に起因する不具合等により、性能等確認の担当者が確認業務の継続を不可能と判断したとき

## 22. 性能等確認の延期

天候、天災その他やむを得ない理由により実施が困難となったときは、性能等確認業務を延期する場合がある。この場合において、研究所は、確認申請者に対してその旨を連絡し、性能等確認の実施予定日並びに実施場所等について協議することとする。この場合において、延期された確認業務の手数料は研究所が負担し、試験自動車及び後付消音器の提示に係る費用(確認申請者の申し出により試験自動車を一旦搬出し、再度搬入する場合に限る。)は確認申請者が負担することとする。

## 23. 秘密の保持等

性能等確認業務の担当者は、次に掲げる事項を遵守することとする。

- (1) 関係法令その他の規程を遵守し、試験等及び事務を厳格、かつ、公正に行うこと。
- (2) 性能等確認の申請に係る事項及び実施状況並びに結果の取扱い等について、職務上知り得た事項の秘密保持を図ること。

## 24. 書面等の管理及び帳簿の保管

研究所は、性能等確認結果を記載した書面の交付及び再交付並びに性能等確認済表示について、研究所が定める管理番号を持って管理することとする。また、研究所は、次に掲げる事項を記載した帳簿を備え、これを記載の日から7年間保管することとする。

- (1) 性能等確認の手数料の収納に関する事項
- (2) 性能等確認の申請の受付に関する事項
- (3) 性能等確認結果に関する事項

(4) 性能等確認結果を記載した書面の交付及び再交付に関する事項

(5) その他性能等確認の実施状況に関する事項

25. 性能等確認済表示の表示中止の要請

研究所は、次に掲げる場合は、確認済後付消音器製作者等に対し、性能等確認を受けた後付消音器への性能等確認済表示の表示の中止を要請することとし、速やかにその旨をインターネットの利用その他の適切な方法により公表することとする。

(1) 確認申請者が、申請書又は添付書面への虚偽の記載その他不正な方法により性能等確認を受けたことが発覚した場合

(2) 確認済後付消音器製作者等が、第 16 条(2)項及び(4)項に規定する義務を遵守してないことが発覚した場合

附則 この業務規程は、2019 年 5 月 1 日から実施する。

## 別添 1 性能等確認業務の種類

(性能等確認業務の種類)

1. 研究所は、次に掲げる種類の業務を行うこととする。
  - (1) 研究所が試験(変更確認に伴う試験を含む。)を行って業務規程第 9 条の基準への適合を確認し、申請書及び添付書面により業務規程第 10 条から第 12 条の基準への適合を確認する業務
  - (2) 確認申請者が自ら試験を行う際に立会って業務規程第 9 条の基準への適合を確認し、申請書及び添付書面により業務規程第 10 条から第 12 条の基準への適合を確認する業務
  - (3) 公的試験機関が交付した証明書により業務規程第 9 条の基準への適合を確認し、申請書及び添付書面により業務規程第 10 条から第 12 条の基準への適合を確認する業務
  - (4) 申請書及び添付書面により変更確認を行う業務
  - (5) 性能等確認結果の再交付を行う業務

(立会いによる騒音防止性能の確認)

2. 前号(2)項の業務は、確認申請者が、別添 2 第 2 号又は第 3 号の要件を満たすことの確認に係る試験を行うことができると認められる場合に実施することとする。この場合において、確認申請者は、業務規程第 19 条(1)項に定める予約手続きを行う際に、前号(2)項の業務を希望する旨並びに試験を行う場所及び試験に用いる設備(計測機器)を研究所に申し出なければならない。

別添 2 騒音防止性能の確認

(騒音防止性能の確認)

1. 騒音防止性能の確認は、協定規則第 41 号又は第 51 号によるほか、独立行政法人自動車技術総合機構審査事務規程別添 1 試験規定 (TRIAS) に基づき実施する。

(第 1 節の規定の適用を受ける自動車等に備える後付消音器)

2. 第 1 節の規定の適用を受ける自動車等に備える後付消音器については、当該後付消音器を取り付ける自動車等に応じて、以下の要件を満たすことを確認する。
  - (1) 自動車等 (二輪自動車又は原動機付自転車に限る。) は、協定規則第 41 号の技術的な要件 (同規則第 4 改訂版<sup>a)</sup>の規則 6.2, 6.3 及び 6.4 に限る。) に適合すること。
  - (2) 自動車等 (二輪自動車又は原動機付自転車を除く。) は、協定規則第 51 号の技術的な要件 (同規則第 3 改訂版<sup>a)</sup>の規則 6.2.2<sup>b)</sup>, 6.2.3 及び 6.3 に限る。) に適合すること。
    - a) 細目告示別添 112 の II で規定された補足改訂版を適用する。
    - b) 自動車検査証の備考欄に記載される騒音カテゴリに対応したフェーズの規制値を適用する。

(第 2 節の規定の適用を受ける自動車等に備える後付消音器)

3. 第 2 節の規定の適用を受ける自動車に備える後付消音器については、当該後付消音器を取り付ける自動車等に応じて、以下の要件を満たすことを確認する。
  - (1) 自動車等 (二輪自動車又は原動機付自転車に限る。) は、協定規則第 41 号の技術的な要件 (同規則第 4 改訂版<sup>a)</sup>の規則 6.2 に限る。) に適合すること。
  - (2) 自動車等 (二輪自動車又は原動機付自転車を除く。) は、協定規則第 51 号の技術的な要件 (同規則第 3 改訂版<sup>a)</sup>の規則 6.2.2<sup>b)</sup>に限る。) に適合すること。
    - a) 細目告示別添 112 の II で規定された補足改訂版を適用する。
    - b) 自動車検査証の備考欄に記載される騒音カテゴリに対応したフェーズの規制値を適用する。

(試験自動車の選定)

4. 騒音防止性能の確認に係る試験に供する試験自動車の選定に当たっての参考とすることのできる考え方の一例を以下に示す。
  - (1) 市街地加速走行騒音

試験自動車の選定は、表 1 の項目の仕様の組合せが異なるもの毎に行うこととする。

表 1

市街地加速走行騒音	
項目	仕様例
①原動機型式	
②原動機最高出力	
③変速機構	手動変速機、自動変速機、無段変速機等の別 (自動変速機又は無段変速機等にあつては、ギヤ固定機能の有無を含む)

④その他騒音に影響を及ぼす仕様	
-----------------	--

## (2) 近接排気騒音

試験自動車の選定は、表 2 の項目の仕様の組合せが異なるもの毎に行うこととする。

表 2

近接排気騒音	
項目	仕様例
①原動機型式	
②原動機最高出力	
③試験時原動機回転数	原動機最高出力時回転数の相違、過回転防止装置※の有無等
④排気管開口部と原動機との距離	
⑤その他騒音に影響を及ぼす仕様	

※過回転防止装置：原動機の回転速度を抑制する装置（エンジンコントロールユニットに組み込まれたものであって当該装置を容易に解除することができないものに限る。）

(試験成績表)

5. 測定結果は、以下の様式に記載する。

- (1) 協定規則第 41 号による測定結果：第 9 号様式
- (2) 協定規則第 51 号による測定結果：第 10 号様式

別添 3 試験自動車の諸元表

(諸元表の提出)

確認申請者は、研究所に対し、第 6 号様式表 1 による試験自動車の諸元表を提出すること。

#### 別添 4 構造基準

(騒音低減機構を容易に除去できる構造の禁止)

1. 確認を受ける消音器は、騒音低減機構を容易に除去できない構造でなければならない。具体的には、消音器本体の外部構造及び内部構造が恒久的方法（溶接、リベット等）により結合されていなければならない。ただし、消音器を自動車等に固定するためのネジ止め及びボルト止めはこの限りではない。

(排出ガス発散防止装置の装着)

2. 標準車に備えられている排出ガス発散防止装置（触媒）を取り外して装着する構造の消音器にあつては、内部に排出ガス発散防止装置を備えるものでなければならない。

## 別添 5 品質及び性能等確認済表示の管理体制

### (品質管理体制)

1. 確認申請者は、申請に係る後付消音器と同じ構造及び性能を有する後付消音器を均一に製作するために必要な品質管理に係る実施要領を定め、これを行う体制を有しなければならない。具体的には、少なくとも次に掲げる基準に適合するものでなければならない。
  - (1) 後付消音器の材料は、申請に係る後付消音器と同じものであって、かつ、JIS 等に適合するものを使用すること。
  - (2) 曲げ、圧延、切断等の 1 次加工及びその後の 2 次加工におけるそれぞれ適切な過程において、ロット毎に検品を行うこと。
  - (3) 消音器の製作に用いる工作機械について、定期的に精度等に関する検査を実施すること。
  - (4) 製作された後付消音器が、申請に係る後付消音器と同じ構造及び性能を有することを確認するため、外観又は性能等を確認することにより、完成検査を実施すること。
  - (5) (2)項、(3)項及び(4)項に掲げる検査等の結果を記録・保存すること。
  - (6) (2)項、(3)項及び(4)項の検査等に係る検査責任者並びに(5)の記録・保存に係る管理責任者を選任すること。

### (性能等確認済表示の管理体制)

2. 確認申請者は、性能等確認済表示の管理に係る実施要領を定め、性能等確認済表示の表示位置に係る管理体制及び第三者による性能等確認済表示の不正表示の防止のための措置を講じる体制を有しなければならない。具体的には、少なくとも次に掲げる事項により製品の識別及び製作・販売履歴を適切に確保する体制を有しなければならない。
  - (1) 性能等確認済表示の不正表示の防止のための措置を講じること。
  - (2) 後付消音器の販売先が、性能等確認済表示の内容により特定できるよう記録・保存すること。
  - (3) (1)項の措置及び(2)項の記録・保存に係る管理責任者を選任すること。

## 別添 6 性能等確認業務の手数料

(性能等確認業務の手数料)

1. 別添 1 に掲げる業務の種類別に、表 1 に記載する額を手数料として定める。なお、研究所の担当者が確認のために出張するときは、第 2 号に定めるその他費用（旅費、日当、宿泊費、移動時間の労務費及び機材輸送費）を別途加算することとする。また、これら以外に必要な費用が生じる場合には、別途協議することとする。

表 1

業務の種類	後付消音器 1 種類 (1 本) / 試験自動車 1 台当たりの手数料 (税抜き)	その他費用
(1)	507,000 円	別添 2 第 1 号による確認の場合は、 92,000 円を加算
(2)	86,000 円	旅費、日当、宿泊費、移動時間の人 件費、機材輸送費は別途加算
(3)	48,000 円	—
(4)	19,000 円	—
(5)	4,000 円	—

(その他費用の単価)

2. その他費用の単価は、次の表 2 のとおりとする。

表 2

項目	単価
旅費 <sup>(a)</sup>	実費
日帰り日当 (関東地区)	1 日当たり 1,437 円 (税抜き)
日帰り日当 (関東地区以外)	1 日当たり 2,449 円 (税抜き)
宿泊日当	1 日当たり 2,449 円 (税抜き)
宿泊費	1 宿泊当たり 10,648 円 (税抜き)
移動時間 <sup>(b)</sup> の労務費	1 時間当たり 9,660 円 (税抜き)
機材輸送費	実費

- (a) 旅費 : 合理的な通常の経路及び方法により計算することとする。ここでいう合理的とは、金額、距離、時間、安全等を総合的に勘案したものをいう。また、新幹線、特別急行列車及び普通急行列車は、当該列車を片道 100km 以上乗車する場合に使用することとする。
- (b) 移動時間 : つくば研究所と確認を行う場所の往復に要する時間のことであり、上記(a)項と同様に計算することとする。

別表第 1 (性能等確認申請書の添付書面及び記載事項)

添付書面	記載要領等																		
<p>1. 提出書面一覧表</p>	<p>提出書面一覧表の様式は、次表のとおりとし、記載に際しては、次のことに留意して記載すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 提出・省略の別欄には、書面を提出する場合には「○」を、書面の提出を省略する場合には「×」をそれぞれ記載すること。</li> <li>2. 提出を要しない書面については提出・省略の別欄に「/」を記入すること。</li> <li>3. 備考欄には、書面の提出を省略する理由を具体的に記載すること。</li> </ol> <p>表</p> <table border="1" data-bbox="667 752 1388 1088"> <thead> <tr> <th colspan="3">提出書面一覧表</th> </tr> <tr> <th colspan="3">後付消音器の名称 (型式)</th> </tr> <tr> <th>書面の名称</th> <th>提出・省略の別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(日本工業規格 A 列 4 番)</p>	提出書面一覧表			後付消音器の名称 (型式)			書面の名称	提出・省略の別	備考									
提出書面一覧表																			
後付消音器の名称 (型式)																			
書面の名称	提出・省略の別	備考																	
<p>2. 構造及び性能を記載した書面</p> <p>(1) 諸元表</p> <p>(2) 消音器説明書</p>	<p>諸元表の様式は、第 5 号様式による。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 申請に係る後付消音器の主な構成部品名 (展開図を含む。) 及びその機能について記載すること。</li> <li>2. 申請に係る後付消音器の構成及び申請に係る後付消音器が内部の騒音低減機構を容易に除去できる構造を有していないことを説明できるような構成概略図又は写真を含むこと。</li> </ol>																		
<p>3. 申請に係る後付消音器の品質管理体制を記載した書面 (確認申請者が ISO 第 9001 号等を取得している場合 (申請に係る後付消音器の製作工場について取得している場合に限る。) にあっては、取得している事実を証する書面で代えることができる。)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 申請に係る後付消音器の検査の業務組織 (担当部署名を含む。) 及び実施要領 (検査の項目、検査の方法及び検査の方式、検査用機械器具の名称並びに品質管理関係主要規程名を含む。) について記載すること (別添 7 第 1 号に掲げる体制を有することを示すこと)。</li> <li>2. ISO 第 9001 号等を取得している場合は、取得証明書 (写し) を添付すること。</li> </ol>																		

<p>4. 申請に係る後付消音器に表示する性能等確認済表示の管理体制を記載した書面（確認申請者が ISO 第 9001 号等を取得している場合（申請に係る後付消音器の製作・販売を管理する事務所について取得している場合に限る。）にあつては、取得している事実を証する書面で代えることができる。）</p>	<p>1. 申請に係る後付消音器の識別及び製作・販売履歴の管理の業務組織（担当部署名を含む。）及び実施要領（管理の項目、管理の方法及び管理関係主要規程名を含む。）について記載すること（別添 7 第 2 号に掲げる体制を有することを示すこと）。なお、上記第 3 項第 1 号に掲げる書面に当該事項が記載されている場合には、提出を省略することができる。</p> <p>2. ISO 第 9001 号等を取得している場合は、取得証明書（写し）を添付すること。なお、上記第 3 項第 2 号に掲げる証明書が当該証明書と同一の場合には、提出を省略することができる。</p>
<p>5. 申請に係る後付消音器に表示する性能等確認済表示の不正表示の防止のための措置を記載した書面</p>	<p>第三者による性能等確認済表示の不正表示の防止のための措置を記載すること。</p>
<p>6. 性能等確認済表示の表示図</p>	<p>性能等確認済表示の表示位置、表示方法を記載すること。なお、上記第 2 項第 2 号に掲げる図面に当該事項が記載されている場合には、提出を省略することができる。</p>
<p>7. 取り付けることができる自動車等の範囲を限定する後付消音器の性能等確認申請にあつては、当該後付消音器を取り付けることができる自動車等の範囲を記載した書面</p>	<p>当該後付消音器を装着することが可能な自動車等の車名及び型式（型式を有していない自動車等にあつては、車両識別番号（VIN））を記載し、当該自動車等の諸元表（当該自動車等の製作者が公表するものであつて、試験自動車の選定に関して、試験自動車が、当該後付消音器を装着可能な自動車等の全ての型式を代表できることを証するものとする。）を添付すること。</p>
<p>8. 申請に係る後付消音器を備えた試験自動車により騒音防止性能を確認する場合にあつては、試験自動車の諸元表</p>	<p>別添 3 に定める試験自動車の諸元表を添付すること。</p>
<p>9. 業務規程第 5 条に規定する購入契約を締結している者にあつては、当該契約書の写し</p>	<p>1. 契約書が日本語で記載されているもの以外のものにあつては、これを翻訳した書面を添付すること。</p> <p>2. 申請に係る後付消音器の検査を行うのに必要となる技術情報の提供及び補修用部品の供給が当該自動車等又は当該後付消音器の製作を業とする者から確認申請者に対してなされる旨の契約が締結されていることが、当該契約書等から明らかであること。</p>

10.その他研究所が確認の実施に 当たって必要と認められる書 面	1. 当該後付消音器を取り付けることができる自動車等毎に、 騒音値に影響を及ぼす事項（上記第2項第1号の諸元表に 記載された事項は除く。）を記載した書面 2. その他
--	--

## 第 1 号様式（後付消音器の性能等確認申請書）

研究所使用欄	受付番号：
--------	-------

後付消音器の性能等確認申請書	
一般財団法人 日本自動車研究所 殿	
西暦            年            月            日	
確認申請者の氏名 又は名称	
印	
住所 電話番号 FAX 番号 電子メール	
後付消音器の名称（型式）	
取り付けることができる自動車等の範囲（車名・型式）	
製作工場の名称及び所在地	
完成検査を実施する工場の名称及び所在地	
確認申請する業務の種類	
確認申請する要件	
備 考	

(日本工業規格 A 列 4 番)

注) 確認申請者が法人の場合には、その名称及び代表者氏名を確認申請者の氏名又は名称欄に記載し、押印すること。

確認申請する業務の種類欄には、業務規程別添 1 第 1 号(1)項から(3)項より確認申請する業務の種類を選択し、下記の例に従って記入すること。

「(1)試験等」、 「(2)立会い等」、 「(3)証明書等」

確認申請する要件欄には、業務規程別添 2 に規定する要件より、第 2 号(1)項、第 2 号(2)項、第 3 号(1)項、第 3 号(2)項のいずれかを選択し、記入すること。

業務規程別添 1 第 1 号(4)項又は(5)項の業務を確認申請する場合には、それぞれ第 2 号様式又は第 11 号様式によること。

第 2 号様式（後付消音器の性能等の変更確認申請書）

後付消音器の性能等の変更確認申請書  一般財団法人 日本自動車研究所 殿  <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>西暦</span> <span>年</span> <span>月</span> <span>日</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">                     確認申請者の氏名 又は名称 住所 電話番号 FAX 番号 電子メール                 </div> <span>印</span> </div>	
性能等確認済表示の内容	
後付消音器の名称（型式）	
取り付けることができる自動車等の範囲（車名・型式）	
変更事項及び変更理由	
変更年月日	
備 考	

（日本工業規格 A 列 4 番）

注） 確認申請者が法人の場合には、その名称及び代表者氏名を確認申請者の氏名又は名称欄に記載し、押印すること。

第 3 号様式（後付消音器の性能等の変更届出書）

後付消音器の性能等の変更届出書  一般財団法人 日本自動車研究所 殿  <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>西暦</span> <span>年</span> <span>月</span> <span>日</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">                     確認申請者の氏名 又は名称 住所 電話番号 FAX 番号 電子メール                 </div> <span>印</span> </div>	
性能等確認済表示の内容	
後付消音器の名称（型式）	
取り付けることができる自動車等の範囲（車名・型式）	
変更事項及び変更理由	
変更年月日	
備 考	

（日本工業規格 A 列 4 番）

注） 確認申請者が法人の場合には、その名称及び代表者氏名を確認申請者の氏名又は名称欄に記載し、押印すること。



## 第 5 号様式（後付消音器諸元表）

後付消音器諸元表										
性能等確認済表示の内容										
確認年月日										
変更年月日										
確認申請者の氏名又は名称										
後付消音器の名称（型式）										
消音器の個数										
排出ガス防止装置の有無										
後付消音器を取り付けることができる原動機等										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>原動機型式</th> <th>過給器の有無</th> <th>原動機の最高出力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		原動機型式	過給器の有無	原動機の最高出力						
原動機型式	過給器の有無	原動機の最高出力								
騒音値（諸元値）	市街地加速走行騒音 <span style="float: right;">dB</span>									
	近接排気騒音 <span style="float: right;">dB</span>									
備 考										

（日本工業規格 A 列 4 番）

注）性能等確認済表示の内容、確認年月日、変更年月日は、変更確認申請時に記載すること。

騒音値（諸元値）は確認申請者が記載すること。  
 該当しない項目は「/」を記入又は抹消すること。

第6号様式（試験自動車の諸元表）

表1

試験依頼者名	試験自動車製作者の名称
--------	-------------

※以下の項目は試験実施の際に使用する数値であり、試験実施後は、変更・訂正は出来ない場合がありますので、十分確認のうえ記入してください。

1. 試験自動車諸元表

車名・型式		・		製造・通関年月日						
車台番号（シリアル番号）				車両カテゴリ						
自動車通関証明書証明番号				通称名						
原動機	型式			全長（m）						
	総排気量（L）			全幅（m）						
	気筒配列・気筒数	・		全高（m）						
	作動方式			乗車定員（人）						
	搭載位置			最高速度（km/h）						
	過給器の有無（個数）*	有・無（ ）個		触媒の有無*		有・無				
	最高出力（kW/rpm）	/		最終減速比						
	最大トルク（N・m/rpm）	/								
	使用燃料									
	モーターがある場合記載	型式： ， 最高出力（kW/rpm）： /								
変速機	種類*	手動変速機・自動変速機・無段変速機・その他（ ）								
	ギヤ固定機能の有無（段数）*	有・無（ ）段								
変速機 ギヤ比	1速	2速	3速	4速	5速	6速	7速	8速	9速	10速
車両に搭載されているすべての走行モード等										
上記モードの内、出力が最高出力と異なるモード及びその時の出力（kW）										
駆動方式										
		合計（kg）		前軸（kg）		後軸（kg）				
技術的最大許容総質量（kg）										
車両の空車質量（kg）										
目標の車両質量（kg）										
ランニングオーダー質量（kg）										
パワーマスレシオ（PMR）										
タイヤサイズ（空気圧）（kPa）	前輪			（ ）kPa						
				（ ）kPa						
	後輪			（ ）kPa						
				（ ）kPa						
備考										

注1 \*の欄は該当しない区分を消去して、該当する区分のみを記入してください。過給器の有無が「有」の場合は過給器の個数、ギヤ固定機能が「有」の場合は段数を数値で記入して下さい。

注2 該当しない項目には「/」を記入して下さい。

表 2

試験自動車の諸元表の記載方法等		
騒音カテゴリ	自動車検査証の備考欄に記載される騒音カテゴリ (M1A1A 等)	
車台番号又は車両識別番号 (VIN)	車台番号又は車両識別番号 (VIN) を有しない場合は、試験自動車特定し得る製造番号等の記載に代えることができる。	
自動車通関証明書 証明番号	本邦で未登録の自動車等を本邦に輸入し、試験自動車として提示する場合に記載する。	
製造・通関年月日	製造年月日の特定ができるものはその日付、それ以外の場合は通関年月日に記載する。	
原動機	気筒配列・気筒数	単気筒、直列 4 気筒、V 型 6 気筒、水平対向 4 気筒、並列 2 気筒、L 型 2 気筒、2 ローター等の別
	作動方式	2 サイクル、4 サイクル、ロータリー等の別
	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン、無鉛プレミアムガソリン等の別
最終減速比	1 次、2 次を有する場合には、それぞれ記載する。	
車両に搭載されている全ての走行モード等	複数の走行モード等を有する場合には記載する。	
上記モードの内、出力が最高出力と異なるモード及び出力 (kW)	複数の走行モードを有する場合、出力が最高出力と異なるモード及び出力 (kW) を記載する。	
駆動方式	全輪駆動、前輪駆動、後輪駆動等の別	
技術的最大許容総質量 (kg)	車両の構造特性及び設計性能に基づいて車両に割り当てられる最大質量。	
車両の空車質量 (kg)	非搭乗、非積載状態であり、灯火器、油脂類、ツールキット等を含み、燃料タンク全容量の 90%以上の燃料を搭載している状態。	
目標の車両質量 (kg)	車両の試験時質量。	
ランニングオーダー質量 (kg)	燃料タンクがその容量の最低 90%まで満たされており、運転者、燃料及び液体の質量を含み、自動車製作者の仕様に従って標準装備されている装置並びに装着されている場合は車体、キャビン、カップリング、スペアホイール及び工具を含んだ車両質量	
パワーマスレシオ (PMR)	$PMR = (\text{原動機最高出力} / \text{目標の車両重量}) \times 1000$	
タイヤサイズ (空気圧) (kPa)	タイヤサイズ及び定員乗車+最大積載量積載時の指定空気圧に記載する。	

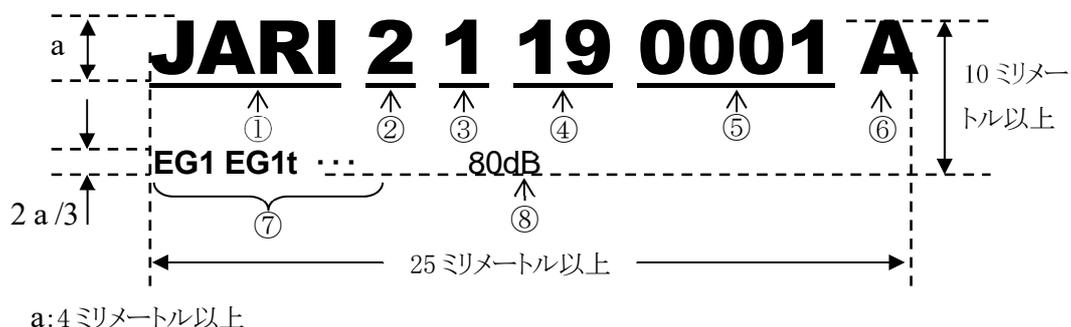
第 7 号様式 (性能等確認の通知)

番号 : 西暦          年          月          日	
<h2 style="margin: 0;">性能等確認の通知</h2>	
確認結果	基準に適合          基準に不適合
性能等確認済表示の内容	
後付消音器の名称 (型式)	
取り付けることができる自動車等の範囲 (車名・型式)	
確認申請者の氏名又は名称	
性能等確認・変更確認の申請日	
試験成績表又は確認結果の交付日	
試験成績表又は確認結果の番号	
性能等確認済表示の表示位置	
変更理由	
一般財団法人 日本自動車研究所	

(日本工業規格 A 列 4 番)

注) 該当しないものを抹消する。

第 8 号様式 (性能等確認済表示)



① 研究所の英語略称                      アルファベット「JARI」

(後付消音器に付される識別番号 (7 桁以上の数字))

- ② 識別番号 1 桁目                      消音器の個数
- ③ 識別番号 2 桁目                      触媒の有無 (1 : 触媒付、0 : 触媒なし)
- ④ 識別番号 3・4 桁目                      性能等確認を受けた年 (西暦) の下 2 桁  
(例えば、西暦 2019 年は「19」)
- ⑤ 識別番号 5 桁目以降                      研究所が後付消音器に付す識別番号 (3 桁以上の数字)

(適用する要件に係る記号)

- ⑥ アルファベット「A」(別添 2 第 2 号の要件を満たすもの)  
アルファベット「P」(別添 2 第 3 号の要件を満たすもの)

(後付消音器を取り付けることができる自動車等の原動機型式)

- ⑦ 原動機型式                              後付消音器を取り付けることができる自動車等が備える原動機  
の型式 (過給器付き原動機は末尾にアルファベット「t」を付す。)
- ⑧ 近接排気騒音値                              後付消音器を取り付けた際の近接排気騒音値

第 9 号様式（自動車騒音試験成績表）

# 自動車騒音試験成績表（協定規則第 41 号）

確認申請者 殿

番号：

西暦 年 月 日

一般財団法人 日本自動車研究所

後付消音器の名称（型式）

試験自動車の車名・型式

車台番号又は車両識別番号

標記試験自動車について実施した自動車騒音試験の結果は以下のとおりです。

注) 該当しないものを抹消する。

番号： \_\_\_\_\_

自動車騒音試験成績表（協定規則第41号）

試験期日 (Test date)		試験場所 (Test site)		試験機関 (Tested by)	
---------------------	--	---------------------	--	---------------------	--

◎後付消音器

名称(型式) \_\_\_\_\_ 消音器の個数 \_\_\_\_\_ 触媒の有無 \_\_\_\_\_  
 取り付けることができる原動機等（原動機型式、過給気の有無及び最高出力）  
 原動機型式： \_\_\_\_\_ 、 過給気の有無： \_\_\_\_\_ 、 最高出力： \_\_\_\_\_

1. 試験自動車及び試験条件 (Test vehicle and Test conditions)

車名・型式(類別)及び車台番号 (Make-Type(Variant) and Chassis No.)						
原動機型式及び 定格最大ネット出力(Pn)／定格エンジン回転数(S) (kW/min <sup>-1</sup> ) (Engine type and Rated maximum net power / Rated engine speed)		kW _____ min <sup>-1</sup> _____				
変速機の種類 (Type of transmission)	<input type="checkbox"/> 手動 (Non-Automatic gearbox)	<input type="checkbox"/> 自動 (Automatic gearbox)	ギア数 (Number of gears)			
最終減速比 (Final drive ratio(s))						
タイヤサイズ(空気圧) (kPa) (Tire size(Pressure))	前輪 (Front wheel)	( _____ ) kPa				
	後輪 (Rear wheel)	( _____ ) kPa				
質量(Weight)	合計 (kg) (Total)		前軸 (kg) (Front axle)	後軸 (kg) (Rear axle)		
最大許容総質量 (kg) (Maximum permissible gross weight)						
車両の空車質量 (kg) (Kerb mass)						
目標の車両質量 (kg) (Target mass)						
試験時の車両質量 (kg) (Mass of vehicle when tested)						
出力質量比指数 (PMR) 及びクラス (Power-to-mass ratio index and motor cycle class)	クラス (Class)		PMR値 (PMR value)			
試験車両長さ又は基準長さ (m) (Test Vehicle length or reference length lref)						
最高速度 (km/h) (Maximum speed)						
試験条件 (Test conditions)	天候 (Weather)	風向 (Wind direction)	風速 (m/s) (Wind velocity)	外気温 (°C) (Temperature)	気圧 (hPa) (Barometric Pressure)	湿度 (%) (Humidity)

2. 試験機器 (Test equipment)

騒音計 (Sound level Meter)	
車速測定装置 (Vehicle Speed Measuring Device)	

3. 備考 (Remarks)

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

4. 試験成績 (Test results)

番号: \_\_\_\_\_

附則3 運転中のモーターサイクルの騒音

(Annex3 Noise of the motor cycle in motion)

PMR ≤ 25 の車両に関する運転条件 (Operating conditions for vehicles with PMR ≤ 25)

フルスロットル加速テスト (Full throttle acceleration test)

		AA', BB' 及びPP' における速度/エンジン回転数測定 (The speed and engine speed measurements at AA', PP' and BB')						予備加速 長さ (Pre- acceleration length) (m)	騒音の大きさ (Noise level) (dB)						
回数 (No.)	測定条件 (Situation)	VAA' (km/h)	VPP' (km/h)	VBB' (km/h)	nAA' (min <sup>-1</sup> )	nPP' (min <sup>-1</sup> )	nBB' (min <sup>-1</sup> )		測定値 (Measured value)		暗騒音補正量 (correction value)		-1dB (1dB(A) reduction for measurement inaccuracy)		L <sub>wot</sub> (i)
									左 (Left)	右 (Right)	左 (Left)	右 (Right)	左 (Left)	右 (Right)	
i	1 指定速度 (Speed)														
	2 変速段 (Gear Position)														
	3 3回の走行の平均 (Average of 3 runs)														
車両がBB' を通過する前に定格エンジン回転数、または最高速度の75%の超過が生じる時 (When the rated engine or 75% of maximum vehicle speed is exceeded in a gear before the vehicle passes BB')															
i	1 指定速度 (Speed)														
	2 変速段 (Gear Position)														
	3 3回の走行の平均 (Average of 3 runs)														

静止しているモーターサイクルの騒音テスト (Noise from stationary motor cycle test)

回数 (No.)	目標エンジン回転数 (Target engine speed) (min <sup>-1</sup> )	測定エンジン 回転数 (Measurement engine speed)	騒音の大きさ (Noise level) (dB)		
			測定値 (Measured value)		最終結果値 (Final result)
			左 (Left)	右 (Right)	
1		Pass・Fail			
2		Pass・Fail			
3		Pass・Fail			
3回の測定値の平均 (Average of 3 measurements)					

4. 試験成績 (Test results)

番号: \_\_\_\_\_

仕様確認 (協定規則第41号 6章)

(Check for the specifications this Regulation (From paragraph "6. specification" of this regulation))

6.1. 一般仕様 (General specifications)				
6.1.1				Pass・Fail
・静止しているモーターサイクルの騒音テスト(The final result of stationary test) 騒音の大きさ _____ (dB)      エンジン回転数 _____ (min <sup>-1</sup> ) ・フルスロットル加速テスト(Full throttle acceleration test) ギア(gear) _____      予備加速 _____ (m)      速度(Speed) _____ (km/h)      騒音の大きさ _____ (dB)				
備考(Remark)				
6.2. 騒音レベルに関する仕様 (General specifications)				
6.2.1.				Pass・Fail
6.2.2.				Pass・Fail
6.2.3.				Pass・Fail
6.3. 騒音の発生に関する追加規定 (Additional sound emission provisions)				
6.3.1.				Pass・Fail
6.3.2.				Pass・Fail
6.3.3.				Pass・Fail
6.3.4.				Pass・Fail
6.4. 繊維性材料が詰められた排気または消音システムに関する追加規定 (Additional specifications regarding exhaust or silencing systems filled with fibrous material)				
6.4.1. 装備の有無 (Existence of equipment)		Yes・No		Pass・Fail
6.5. 繊維性材料が詰められた排気または消音システムに関する追加規定 (Additional specifications regarding exhaust or silencing systems filled with fibrous material)				
6.5.1.				Pass・Fail
6.5.2. 装備の有無 (Existence of equipment)		Yes・No		Pass・Fail
附則4 テスト場の仕様 (Annex4 Specifications for the test site)				
		検定日 (Test date)	平成 年 月 日	
		検定有効期限 (Expiry date)	平成 年 月 日	
1.				
2.				Pass・Fail
2.1.				Pass・Fail
2.2.				Pass・Fail
2.3.				Pass・Fail
2.4.				Pass・Fail
2.5.				Pass・Fail
3. テスト表面の設計 (Test surface design)				
3.1.				Pass・Fail
3.2.				Pass・Fail
4. テスト方法 (Test method)				
4.1.			*The results is the same as 2.1.	Pass・Fail
4.2.			*The results is the same as 2.2.	Pass・Fail
4.3.			*The results is the same as 2.3.	Pass・Fail
5. 経時安定性およびメンテナンス (Stability in time and maintenance)				
5.1.			*The results is the same as 2.5.	Pass・Fail
5.2.				Pass・Fail
5.3.				Pass・Fail
6. テスト表面およびテスト表面で実施したテストの文書化 (Documentation of the test surface and of tests performed on it)				
6.1.				Pass・Fail
6.2.				Pass・Fail
附則5 繊維性材料を含む排気または消音システム (Annex5 Exhaust or silencing system containing a fibrous material)				
1.	実施期日 (Operation date)		試験機関 (Tested by)	Pass・Fail
1.1.				Pass・Fail
1.2. 繊維性吸収材は消音器の排ガスが通過する部品内に置いてはならず、かつ下記の要件に適合するものとする The fibrous absorbent material may not be placed in those parts of the silencer through which the exhaust gases pass and shall comply with the following requirements:				Pass・Fail
1.2.1				Pass・Fail
1.2.2				Pass・Fail
1.2.3				Pass・Fail
1.3. システムを付帯3に従ってテストする前に、下記のコンディショニング方法の1つによって、路上使用の通常の状態にするものとする: Before the system is tested in accordance with Annex 3, it shall be put into a normal state for road use by one of the following condition methods:				Pass・Fail
1.3.1				Pass・Fail
1.3.2				Pass・Fail
1.3.3				Pass・Fail

4. 試験成績 (Test results)

番号: \_\_\_\_\_

附則3 運転中のモーターサイクルの騒音 (Annex3 Noise of the motor cycle in motion)

PMR > 25 の車両に関する運転条件 (Operating conditions for vehicles with PMR>25)

基準加速度 (Reference acceleration) (m/s <sup>2</sup> )		ギア加重係数 (Calculation of the gear weighting factor) k		部分加速係数 (Calculation of the partial power factor) kp		
a <sub>wot_ref</sub>				L <sub>wot</sub> ・L <sub>crs</sub> ・L <sub>urban</sub> の騒音の大きさの結果 (Result of Noise level at L <sub>wot</sub> , L <sub>crs</sub> and L <sub>urban</sub> ) (dB)		
上限(Max)		予備加速長さ (m) (Pre-acceleration length)	(i)	L <sub>wot</sub>	L <sub>crs</sub>	L <sub>urban</sub>
下限(Min)			(i+1)			
目標加速度 a <sub>urban</sub> (Target acceleration)		暗騒音 (Level of ambient noise)	(dB)			

フルスロットル加速テスト (Full throttle acceleration test)

回数 (No.)	AA', BB' 及びPP' における速度/エンジン回転数測定 (The speed and engine speed measurements at AA', PP' and BB')							加速度 計算 (Calculation of the acceleration) 区間 (Section) AA'-BB'	騒音の大きさ (Noise level) (dB)						
	測定条件 (Situation)	VAA' (km/h)	VPP' (km/h)	VBB' (km/h)	nAA' (min <sup>-1</sup> )	nPP' (min <sup>-1</sup> )	nBB' (min <sup>-1</sup> )		測定値 (Measured value)		暗騒音補正量 (correction value)		-1dB (1dB(A) reduction for measurement inaccuracy)		L <sub>wot</sub> (i) L <sub>wot</sub> (i+1)
									左(Left)	右(Right)	左(Left)	右(Right)	左(Left)	右(Right)	
i	1 指定速度 (Speed) 50							/							
	2 変速段 (Gear Position) 2							/							
	3							/							
3回の走行の平均 (Average of 3 runs)								/							
i+1	1 指定速度 (Speed)							/							
	2 変速段 (Gear Position)							/							
	3							/							
3回の走行の平均 (Average of 3 runs)								/							
車両がBB'を通過する前に定格エンジン回転数、または最高速度の75%の超過が生じる時 (When the rated engine speed or 75% of maximum vehicle speed is exceeded in a gear before the vehicle passes BB')															
	1 指定速度 (Speed)							/							
	2 変速段 (Gear Position)							/							
	3							/							
3回の走行の平均 (Average of 3 runs)								/							

定速テスト (Constant speed test)

回数 (No.)	AA', BB' 及びPP' における速度/エンジン回転数測定 (The speed and engine speed measurements at AA', PP' and BB')							加速度 計算 (Calculation of the acceleration) 区間 (Section) AA'-BB'	騒音の大きさ (Noise level) (dB)						
	測定条件 (Situation)	VAA' (km/h)	VPP' (km/h)	VBB' (km/h)	nAA' (min <sup>-1</sup> )	nPP' (min <sup>-1</sup> )	nBB' (min <sup>-1</sup> )		測定値 (Measured value)		暗騒音補正量 (correction value)		-1dB (1dB(A) reduction for measurement inaccuracy)		L <sub>crs</sub> (i) L <sub>crs</sub> (i+1)
									左(Left)	右(Right)	左(Left)	右(Right)	左(Left)	右(Right)	
i	1 指定速度 (Speed) 50							/			-	-			
	2 変速段 (Gear Position) 2							/			-	-			
	3							/			-	-			
3回の走行の平均 (Average of 3 runs)								/							
i+1	1 指定速度 (Speed)							/							
	2 変速段 (Gear Position)							/							
	3							/							
3回の走行の平均 (Average of 3 runs)								/							

静止しているモーターサイクルの騒音テスト (Noise from stationary motor cycle test)

回数 (No.)	目標エンジン回転数 (Target engine speed) (min <sup>-1</sup> )	測定エンジン回転数 (Measurement engine speed)	騒音の大きさ (Noise level) (dB)		
			測定値 (Measured value)		最終結果値 (Final result)
			左(Left)	右(Right)	
1		Pass・Fail	-		
2		Pass・Fail	-		
3		Pass・Fail	-		
3回の測定値の平均 (Average of 3 measurements)			-		

4. 試験成績 (Test results)

番号: \_\_\_\_\_

附則7 音の発生に関する追加規定 (ASEP) (Annex7 Additional Sound Emission Provisions (ASEP))

車両メーカーが本附則1.2を証明する技術文書を形式認可当局に提供する場合は、可変変速比、またはロックできないギア比を有するオートマチックトランスミッションを装備した車両は、本附則の要件の適用が除外される。

YES・NO

(Vehicles with variable gear ratios or automatic transmission with non-lockable gear ratios are exempted from the requirements of this annex, if the vehicle manufacturer provides technical documents about 1.2 of this Annex to the type approval authority showing.)

ASEP 制御範囲 (ASEP control range)		<input type="checkbox"/>	PMR ≤ 66	<input type="checkbox"/>	PMR > 66
nAA' = _____	nAA' = 0.1 × (S - nidle) + nidle	PMR ≤ 66	nBB' = _____	nBB' = 0.85 × (S - nidle) + nidle	
nidle = _____	S = _____	PMR > 66	nBB' = _____	nBB' = 3.4 × PMR <sup>-0.33</sup> × (S - nidle) + nidle	

回数 (No.)	使用 変速段 (Used gear position)	AA', BB' 及びPP' における速度/エンジン回転数測定 (The speed and engine speed measurements at AA', PP' and BB')							騒音の大きさ (Noise level) (dB)							
		測定条件 (Situation)	VAA' (km/h)	VPP' (km/h)	VBB' (km/h)	nAA' (min <sup>-1</sup> )	nPP' (min <sup>-1</sup> )	nBB' (min <sup>-1</sup> )	測定値 (Measured value)		暗騒音補正量 (correction value)		-1 dB (1dB(A) reduction for measurement inaccuracy)		L <sub>wot</sub>	
									左(Left)	右(Right)	左(Left)	右(Right)	左(Left)	右(Right)		
①	1	速度又は (Speed or) エンジン 回転数 (Engine speed)														
	2															
	3															
3回の走行の平均 (Average of 3 runs)																
②	1	速度又は (Speed or) エンジン 回転数 (Engine speed)														
	2															
	3															
3回の走行の平均 (Average of 3 runs)																
③	1	速度又は (Speed or) エンジン 回転数 (Engine speed)														
	2															
	3															
3回の走行の平均 (Average of 3 runs)																
④	1	速度又は (Speed or) エンジン 回転数 (Engine speed)														
	2															
	3															
3回の走行の平均 (Average of 3 runs)																

ASEP 規制値 (ASEP limits)	
騒音値 (Noise) [dB]	回転数 (Enginespeed) [min <sup>-1</sup> ]

番号： \_\_\_\_\_

後付消音器の名称（型式） \_\_\_\_\_

添付資料（試験自動車の外観及び消音器の装着状況 1/3）



写真1 車両外観（前面）

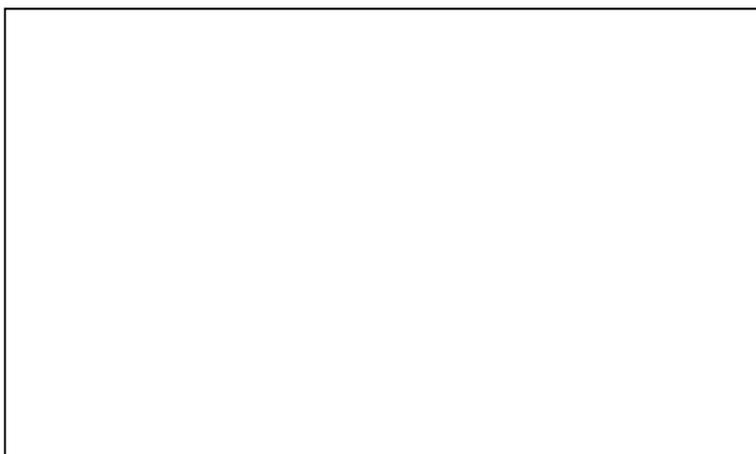


写真2 車両外観（側面）



写真3 車両外観（後面）

番号： \_\_\_\_\_

後付消音器の名称 (型式) \_\_\_\_\_

添付資料 (試験自動車の外観及び消音器の装着状況 2/3)

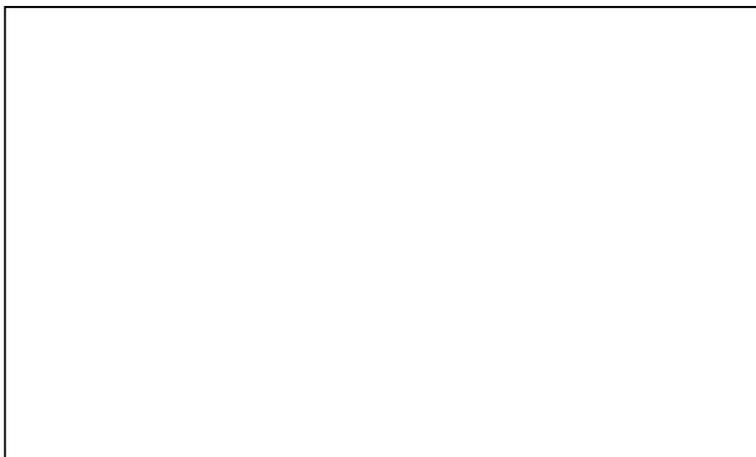


写真 4 原動機外観

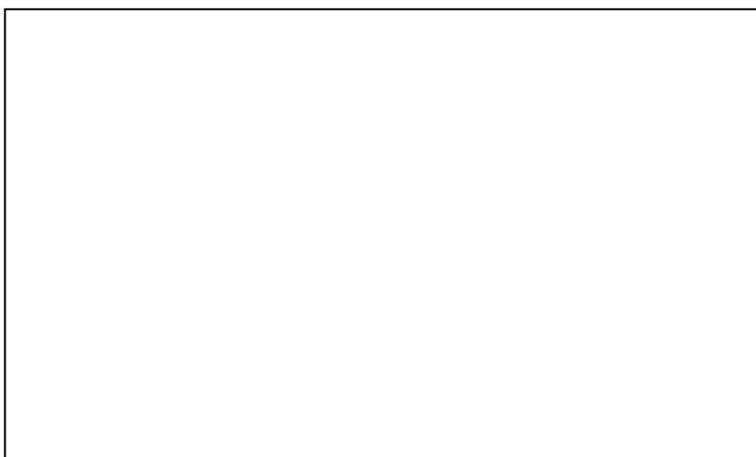


写真 5 消音器外観①



写真 6 消音器外観②

番号： \_\_\_\_\_

後付消音器の名称（型式） \_\_\_\_\_

添付資料（試験自動車の外観及び消音器の装着状況 3/3）



写真 7 消音器外観③

第 10 号様式（自動車騒音試験成績表）

## 自動車騒音試験成績表（協定規則第 51 号）

確認申請者 殿

番  
号：

西暦 年 月 日

一般財団法人 日本自動車研究所

後付消音器の名称（型式）

試験自動車の車名・型式

車台番号又は車両識別番号

標記試験自動車について実施した自動車騒音試験の結果は以下のとおりです。

注) 該当しないものを抹消する。

番号： \_\_\_\_\_

自動車騒音試験成績表(協定規則第51号)

試験期日 Test date		試験場所 Test site		試験機関 Tested by	
-------------------	--	-------------------	--	-------------------	--

◎後付消音器

名称(型式) \_\_\_\_\_ 消音器の個数 \_\_\_\_\_ 触媒の有無 \_\_\_\_\_

取り付けることができる原動機等(原動機型式、過給気の有無及び最高出力)

原動機型式： \_\_\_\_\_、 過給気の有無： \_\_\_\_\_、 最高出力： \_\_\_\_\_

1. 試験自動車及び試験条件

Test vehicle and Test conditions

車名・型式(類別)及び車台番号 Make・Type(Variant) and Chassis No.					
車両諸元 Vehicle spec	車両カテゴリ Vehicle category				
原動機型式及び 定格最大ネット出力(Pn)/定格エンジン回転数(S) Engine type and Rated maximum net power / Rated engine speed [kW/min <sup>-1</sup> ]			kW		min <sup>-1</sup>
変速機の種類 Type of transmission		原動機搭載位置 Positon and arrangement of the	ギア数 Number of gears		
		手動 Non-Automatic gearbox	ギア数 Number of gears		
		自動 Automatic gearbox	ギア数 Number of gears		
		タイプ Type	機械式 Mechanical	油圧式 Hydraulic	電気式 Electric
				その他 Other	
最終減速比 Final drive ratio(s)					
タイヤサイズ(空気圧) Tire size(Pressure) [kPa]		前輪 Front wheel		( ) kPa	
				( ) kPa	
		後輪 Rear wheel		( ) kPa	
				( ) kPa	
質量 Weight		合計 Total	前軸 Front axle	後軸 Rear axle	
技術的許容質量 Technically permissible maximum laden mass [kg]					
車両の空車質量 Curb mass [kg]					
目標の車両質量 Target mass [kg]					
試験時の車両質量 Mass of vehicle when tested [kg]					
後軸許容荷重 Technically permissible maximum laden mass of rear axle [kg]					
パワー・マスレシオ (PMR) Power-to-mass ratio index					
ランニングオーダー質量 Mass of running order [kg]					
質量情報 Vehicle mass information		(a)各バリエーションの最大と最小 Minimum and maximum for each variant		(b)各バージョンの質量 Mass of each version	
試験時の車両長さ Vehicle length [m]					
試験条件 Test conditions	天候 Weather	風向 Wind direction	風速(m/s) Wind velocity	外気温(℃) Temperature	気圧(hPa) Barometric Pressure
					湿度(%) Humidity

番号： \_\_\_\_\_

2. 試験機器

Test equipment

騒音計 Sound level Meter	
車速測定装置 Vehicle Speed Measuring Device	

3. 備考

Remarks

---

---

---

番号： \_\_\_\_\_

4. 試験成績

Test results

仕様確認 (協定規則第51号 6章)

Check for the specifications of this Regulation(From paragraph "6. Specification" of this regulation)

<p>6.1. 一般仕様 General specifications</p> <p>6.1.1. 車両、原動機及び音低減システムは、通常の使用状態において車両が振動を受けても、本規則の規定に適合できるような設計、構造及び組み立てであるものとする。 The vehicle, its engine and its sound reduction system shall be so designed, constructed and assembled as to enable the vehicle, in normal use, despite the vibration to which it may be subjected, to comply with the provisions of this Regulation.</p> <p>6.1.2. 音低減システムは、地域的な気候の違いを含め、車両の使用条件を考慮して、当該装置が受ける腐食作用に無理なく耐えることができるような設計、構造及び組み立てであるものとする。 The sound reduction system shall be so designed, constructed and assembled as to be able to reasonably resist the corrosive phenomena to which it is exposed having regard to the conditions of use of the vehicle., including regional climate differences.</p>	<p>Pass・Fail</p>
<p>6.2. 音量レベルにかかわる仕様 Specifications regarding sound levels</p>	<p>Pass・Fail</p>
<p>6.2.1. 測定方法 Methods of measurement</p>	
<p>6.2.1.1. 認可用に提出される型式の車両から発生する音は、本規則の附則3に規定された方法を用いて屋内または屋外で測定するものとする。 屋内テストに関する個別条件は本規則の附則8に規定されている。 屋外および屋内テストの結果は同等とみなされる。 車両の各個別テスト条件について、メーカーは、車両を屋内または屋外でテストすることを選択できる。 型式認可当局は常に、検証のために屋外テストを義務付ける選択肢を有するものとする。 型式認可当局が屋外テストを義務付ける選択肢は、生産の適合性テストを含み、本規則に規定されたいずれのテストにも適用するものとする。 さらに、音は静止*車両で測定するものとする。 車両の停止中に内燃エンジンが作動できない車両の場合、発生音は走行中のみ測定するものとする。 車両の停止中に内燃エンジンが作動できないカテゴリM1のハイブリッド電気自動車の場合、発生音は附則3の4項に従って測定するものとする。 技術的最大許容質量が2,800kgを超える車両は、対応するブレーキ装置が車両の一部である場合、附則5の仕様に従って停止中の車両で圧縮空気騒音の追加測定を行うものとする。 *この方法を用いて使用過程の車両を検査する行政官庁の基準値とするために、停止中の車両にテストを行う。 The sound made by the vehicle type submitted for approval shall be measured either indoors or outdoors by the methods described in Annex 3 to this Regulation. The specific conditions for indoor testing are provided in Annex 8 to this Regulation. The results of the outdoor and indoor tests are deemed equivalent. For each specific test condition for vehicles, the manufacturer can select to test the vehicle either indoors or outdoors. The option of the type approval authority to mandate an outdoor test shall apply to any test specified in this Regulation, including conformity of production testing. In addition, the sound shall be measured on the stationary* vehicle; in the case of a vehicle where an internal combustion engine cannot operate when the vehicle is stationary, the emitted sound shall only be measured in motion. In the case of a hybrid electrical vehicle of category M1 where an internal combustion engine cannot operate when the vehicle is stationary, the emitted sound shall be measured according to Annex 3, paragraph 4. Vehicles having a technically maximum permissible laden mass exceeding 2,800 kg shall be subjected to an additional measurement of the compressed air noise with the vehicle stationary in accordance with the specifications of Annex 5, if the corresponding brake equipment is part of the vehicle. * A test is made on a stationary vehicle in order to provide a reference value for administrations which use this method to check vehicles in use.</p> <p>6.2.1.2. 上記6.2.1.1項の規定に従って測定した値は、テストレポートおよび附則1に示すモデルに対応した認可証に記入するものとする。 The values measured in accordance with the provisions of paragraph 6.2.1.1. above shall be entered in the test report and a certificate corresponding to the model shown in Annex 1.</p>	

番号： \_\_\_\_\_

4. 試験成績  
Test results

仕様確認 (協定規則第51号 6章)

Check for the specifications of this Regulation(From paragraph "6. Specification" of this regulation)

6.2.2.音量レベルの規制値 Sound level limits																																																																				
6.2.2.1.	<p>本規則の附則3の規定に従って、最も近い整数値に丸めて測定された音量レベルは、規制値を超えないものとする。</p> <p>The sound level measured in accordance with the provisions of Annex 3 to this Regulation, mathematically rounded to the nearest integer value, shall not exceed the limits:</p> <p><i>*該当するカテゴリにチェック"レ"する</i></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">Vehicle categorie</th> <th rowspan="2">Vehicles used for the carriage of passengers</th> <th colspan="2">Sound level limits</th> </tr> <tr> <th>Phase 1</th> <th>Phase 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">M1</td> <td>PMR &lt; 120 kW/t</td> <td>72</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>PMR : 120 kW/t - 160 kW/t</td> <td>73</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>PMR &gt; 160 kW/t</td> <td>75</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>PMR &gt; 200 kW/t, No.of seats &lt; 4, R-point hight &lt; 450 mm</td> <td>75</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">M2</td> <td>M &lt; 2.5 t</td> <td>72</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>2.5t &lt; M &lt; 3.5 t</td> <td>74</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>M &gt; 3.5 t : P ≤ 135 kW</td> <td>75</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>M &gt; 3.5 t : P &gt; 135 kW</td> <td>75</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">M3</td> <td>P ≤ 150kW</td> <td>76</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>150kW &lt; M ≤ 250 kW</td> <td>78</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>P &gt; 250kW</td> <td>80</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">N1</td> <td>M ≤ 2.5 t</td> <td>72</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>M &gt; 2.5 t</td> <td>74</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">N2</td> <td>Pn ≤ 135 kW</td> <td>77</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>Pn &gt; 135kW</td> <td>78</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">N3</td> <td>Pn ≤ 150kW</td> <td>79</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>150 kW &lt; Pn ≤ 250 kW</td> <td>81</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>Pn &gt; 250 kW</td> <td>82</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table>	Vehicle categorie	Vehicles used for the carriage of passengers	Sound level limits		Phase 1	Phase 2	M1	PMR < 120 kW/t	72	70	PMR : 120 kW/t - 160 kW/t	73	71	PMR > 160 kW/t	75	73	PMR > 200 kW/t, No.of seats < 4, R-point hight < 450 mm	75	74	M2	M < 2.5 t	72	70	2.5t < M < 3.5 t	74	72	M > 3.5 t : P ≤ 135 kW	75	73	M > 3.5 t : P > 135 kW	75	74	M3	P ≤ 150kW	76	74	150kW < M ≤ 250 kW	78	77	P > 250kW	80	78	N1	M ≤ 2.5 t	72	71	M > 2.5 t	74	73	N2	Pn ≤ 135 kW	77	75	Pn > 135kW	78	76	N3	Pn ≤ 150kW	79	77	150 kW < Pn ≤ 250 kW	81	79	Pn > 250 kW	82	81	
Vehicle categorie	Vehicles used for the carriage of passengers			Sound level limits																																																																
		Phase 1	Phase 2																																																																	
M1	PMR < 120 kW/t	72	70																																																																	
	PMR : 120 kW/t - 160 kW/t	73	71																																																																	
	PMR > 160 kW/t	75	73																																																																	
	PMR > 200 kW/t, No.of seats < 4, R-point hight < 450 mm	75	74																																																																	
M2	M < 2.5 t	72	70																																																																	
	2.5t < M < 3.5 t	74	72																																																																	
	M > 3.5 t : P ≤ 135 kW	75	73																																																																	
	M > 3.5 t : P > 135 kW	75	74																																																																	
M3	P ≤ 150kW	76	74																																																																	
	150kW < M ≤ 250 kW	78	77																																																																	
	P > 250kW	80	78																																																																	
N1	M ≤ 2.5 t	72	71																																																																	
	M > 2.5 t	74	73																																																																	
N2	Pn ≤ 135 kW	77	75																																																																	
	Pn > 135kW	78	76																																																																	
N3	Pn ≤ 150kW	79	77																																																																	
	150 kW < Pn ≤ 250 kW	81	79																																																																	
	Pn > 250 kW	82	81																																																																	
6.2.2.2.	<p>オフロード用*に設計された車両は、M3及びN3の車両カテゴリについては2dB(A)、その他の車両カテゴリについては1dB(A)、規制値を引き上げるものとする。カテゴリM1の車両については、技術的最大許容質量が2トンを越える場合のみ、オフロード車両用に引き上げられた規制値を適用する。</p> <p><i>*車両構造統合決議 (R. E. 3) (TRANS/WP. 29/78/Rev. 3) の定義に従う。</i></p> <p>For vehicle types designed for off-road use, the limit values shall be increased by 2 dB(A) for M3 and N3 vehicles category and 1 dB(A) for any other vehicle category.</p> <p>For vehicle types of category M1 the increased limit values for off-road vehicles are only valid if the technically permissible maximum laden mass &gt; 2 tons.</p> <p><i>* In conformity with the definitions given in the Consolidated Resolution on the Construction of Vehicles (R.E.3) (TRANS/WP.29/78/Rev.3).</i></p>	Yes · No																																																																		
6.2.2.3.	<p>路上移動時に車いすに座った1人以上の人を収容するよう特別に組み立てまたは改造された車いす用のカテゴリM1車両、および統合決議R. E. 3の2. 5. 2項に定義装甲車については規制値を2dB (A) 引き上げるものとする。</p> <p>Limit values shall be increased by 2 dB(A) for wheelchair accessible vehicles of category M1 constructed or converted specifically so that they accommodate one or more persons seated in their wheelchairs when travelling on the road, and armoured vehicles, as defined in paragraph 2.5.2 of R.E.3.</p>	Yes · No																																																																		
6.2.2.4.	<p>ガソリンのみのエンジンを備えたカテゴリM3の車両型式については、適用可能な規制値を2dB引き上げる。</p> <p>For vehicle types of category M3 having a gasoline only engine, the applicable limit value is increased by 2dB(A).</p>	Yes · No																																																																		
6.2.2.5.	<p>技術的最大許容質量が2.5t以下で、排気量が660ccを超えず、技術的最大許容質量を用いて計算したパワー・マスレシオ (PMR) が35kW/tを超えず、フロントアクスルと運転席のRポイントの間の水平距離「d」が1,100mm未満のカテゴリN1の車両型式については、技術的最大許容質量が2.5tを超えるカテゴリN1の車両の規制値が適用される。</p> <p>For vehicle types of category N1 having a technically permissible maximum laden mass of less than or equal to 2.5 tons, the engine capacity not exceeding 660 cc and the power-to-mass ratio (PMR) calculated by using the technically permissible maximum laden mass not exceeding 35 kW/t and a horizontal distance "d" between the front axle and the driver's seat R point of less than 1,100 mm, the limits of the vehicle types of category N1 having a technically permissible maximum laden mass above 2.5 tons apply.</p>	Yes · No																																																																		

番号： \_\_\_\_\_

4. 試験成績  
Test results

仕様確認 (協定規則第51号 6章)

Check for the specifications of this Regulation (From paragraph "6. Specification" of this regulation)

<p><b>6.2.3. 音の発生に関する追加規定</b></p> <p>音の発生に関する追加規定 (ASEP) は、原動機を装備したカテゴリM1およびN1の車両にのみ適用される。</p> <p>車両メーカーが本規則 (附則3の条件を含む) の附則7の3.3項に定義のASEPの制御範囲内でのテスト条件に対するBB' における車両の最大エンジン回転数と最低エンジン回転数の差が0.15×Sを超えないことを示す型式認可当局への技術文書を提供する場合、車両は附則7の要件を満たすものとみなされる。</p> <p>本条項は、ロック不可能な可変ギア比トランスミッション (CVT) を特に対象としている。以下の条件の1つが満たされている場合、ASEPが適用されない</p> <p>(a) カテゴリN1の車両について、排気量が660ccを超えず、技術的最大許容質量を用いて計算したパワーマスレシオ (PMR) が35を超えない場合。</p> <p>(b) カテゴリN1の車両について、最大積載量が850kg以上で、技術的最大許容質量を用いて計算したパワーマスレシオが40を超えない場合。</p> <p>(c) カテゴリN1またはN1から派生したカテゴリM1の車両について、技術的最大許容質量が2.5トンを超えると同時に、地面からのRポイントの高さが850mmを超え、技術的最大許容質量を用いて計算したパワーマスレシオが40を超えない場合。</p> <p>附則3および附則7に記載の型式認可試験が実施された条件とは異なる標準的な路上走行条件下での車両の音の発生は、試験結果から大きく逸脱しないものとする。車外への音の発生を目的とするあらゆる電氣的音響増大装置は型式認可試験において動作可能な状態であること。</p> <p><b>Additional sound emission provisions</b></p> <p>The additional sound emission provisions (ASEP) apply only to vehicles of categories M1 and N1 equipped with an internal combustion engine.</p> <p>Vehicles are deemed to fulfil the requirements of Annex 7, if the vehicle manufacturer provides technical documents to the type approval authority showing, that the difference between maximum and minimum engine speed of the vehicles at BB' for any test condition inside the ASEP control range defined in paragraph 3.3. of Annex 7 to this Regulation (including Annex 3 conditions) does not exceed 0.15 x S. This article is intended especially for non-lockable transmissions with variable gear ratios (CVT).</p> <p>Vehicles are exempted from ASEP if one of the following conditions is fulfilled:</p> <p>(a) For vehicles of category N1, if the engine capacity does not exceed 660 cc and the power-to-mass ratio PMR calculated by using the technically permissible maximum laden mass does not exceed 35.</p> <p>(b) For vehicles of category N1, if the payload is at least 850 kg and the power-to-mass ratio calculated by using the technically permissible maximum laden mass does not exceed 40.</p> <p>(c) For vehicles of category N1 or M1 derived from N1 if the technically permissible maximum laden mass is greater than 2.5 tons and the R-point height is greater than 850 mm from the ground and the power-to-mass ratio calculated by using the technically permissible maximum laden mass does not exceed 40.</p> <p>The sound emission of the vehicle under typical on-road driving conditions, which are different from those under which the type-approval test set out in Annex 3 and Annex 87 was carried out, shall not deviate from the test result in a significant manner.</p> <p>Any electric sound enhancement system for the purpose of the exterior sound emission shall be operational during the type-approval test.</p>	<p>Yes · No</p> <p>(a) _____</p> <p>(b) _____</p> <p>(c) _____</p>
<p><b>6.2.3.1.</b> 自動車製作者は、本規則で規定されている要件を満たす目的のためだけに、通常の路上運転中に使用しない機械装置、電気装置、熱装置、もしくはその他装置、または手順を意図的に改造、調整または導入しないものとする。</p> <p>The vehicle manufacturer shall not intentionally alter, adjust, or introduce any mechanical, electrical, thermal, or other device or procedure solely for the purpose of fulfilling the sound emission requirements as specified under this Regulation which is not operational during typical on-road operation.</p>	<p>Pass · Fail</p>
<p><b>6.2.3.2.</b> 車両は本規則の附則7の要件を満たすものとする。</p> <p>The vehicle shall meet the requirements of Annex 7 to this Regulation.</p>	<p>Pass · Fail</p>
<p><b>6.2.3.3.</b> 型式認可に申請する際、メーカーは、附則7の付録1に従って、認可される車両型式が本規則の6.2.3項の要件に適合しているとする宣言書を提供するものとする。</p> <p>In applying for type approval, the manufacturer shall provide a statement, in conformity with the Appendix of Annex 7, that the vehicle type to be approved complies with the requirements of paragraph 6.2.3. of this Regulation.</p>	<p>Yes · No</p>
<p><b>6.3. 繊維性材料を含んだ排気システムにかかわる仕様</b></p> <p>Specifications regarding exhaust systems containing fibrous materials</p>	<p>Yes · No</p>
<p><b>6.3.1.</b> 附則4の要件を適用するものとする。</p> <p>Requirements of Annex 4 shall be applied. *The result is the same as Annex4.</p>	<p>*See Annex4</p>

番号： \_\_\_\_\_

4. 試験成績  
Test results

附則3 運転中の自動車の騒音

Annex3 Noise of the motor Vehicle in motion

3.1.2.1. カテゴリー M1、M2 ≤ 3,500 kg (技術的許容積載時の質量)、N1 の車両 Vehicles of category M1、M2 ≤ 3,500 kg technically permissible maximum laden mass, N1									
加速度 [m/s <sup>2</sup> ] Each acceleration ratio value		変速段重み付け係数 k #REF!			各騒音の大きさの結果 Result of each Noise level [dB]				
a <sub>wot_ref</sub>		部分加速係数 kp			暗騒音 Level of ambient noise				
±5% ~		予備加速長さ (i)			左 Left		右 Right		最終成績 Final result
a <sub>urban</sub>		(i+1)			L <sub>wot_rep</sub>				L <sub>urban final</sub>
テスト場の仕様 Specifications for the test site		検定日 Test date		検定有効期限 Expiry date		Pass		Fail	
						L <sub>crs_rep</sub>			
						L <sub>urban</sub>			

ギヤのシフトダウンを抑制するための手段、または2.0m/s<sup>2</sup>を超える加速度値を回避するための手段を記載すること。

Write valid measures to control the downshift of gears or to avoid accelerations beyond 2.0 m/s<sup>2</sup>.

※別紙を用いても良い。

\*1: 変速段または変速比を入力し、モードがある場合はそのモードを入力すること。

Input the gear position or speed ratio, and if there is a mode, input enter that mode

加速又は部分負荷走行テスト Full throttle acceleration or Partial load driving test

測定条件 Situation	測定値 Measurements value						騒音の大きさ Noise level								
	車速 Vehicle speed [km/h]		エンジン回転数 Engine speed [min <sup>-1</sup> ]				加速度 Acceleration [m/s <sup>2</sup> ]			測定値 Measured value		補正後の値 corrected value		Lwot(i)	
屋外 Outdoor	VAA'	VPP'	VBB'	nAA'	nPP'	nBB'	a <sub>wot-test</sub>	a <sub>wot-test</sub> PP'-BB'	a <sub>wot-test</sub> Stable ≤ 1.2	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right
Gear "i" 指定速度 Speed 変速機 Gear <sup>-1</sup>	1														
	2														
	3														
	4														
走行の平均 Averag															
Gear "i+1" 指定速度 Speed 変速機 Gear <sup>-1</sup>	1														
	2														
	3														
	4														
走行の平均 Averag															

定速テスト Constant speed test

測定条件 Situation	測定値 Measurements value						騒音の大きさ Noise level					
	車速 Vehicle speed [km/h]		エンジン回転数 Engine speed [min <sup>-1</sup> ]				測定値 Measured value		補正後の値 corrected value		Lwot(i)	
屋外 Outdoor	VAA'	VPP'	VBB'	nAA'	nPP'	nBB'	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right
Gear "i" 指定速度 Speed 変速機 Gear <sup>-1</sup>	1											
	2											
	3											
	4											
走行の平均 Averag												
Gear "i" 指定速度 Speed 変速機 Gear <sup>-1</sup>	1											
	2											
	3											
	4											
走行の平均 Averag												

排気管の付近での騒音の測定 Measuring of noise in proximity to the exhaust

回数 No.	目標エンジン回転数 Target engine speed [min <sup>-1</sup> ]	測定エンジン回転数 Measurement engine speed	騒音の大きさ Noise level [dB]		
			測定値 Measured value	最終結果値 Final result	
			左 Left	右 Right	
1		Pass	Fail		( )
2		Pass	Fail		
3		Pass	Fail		

附則8 屋内テスト

Annex8 Indoor testing

1. 屋内テストによる申請に関する提出書面  
Documentation for indoor application

※ 附則8を参照すること。  
Refer to Annex8.

YES N/A

Pass Fail

番号： \_\_\_\_\_

4. 試験成績

Test results

附則3 運転中の自動車の騒音

Annex3 Noise of the motor Vehicle in motion

3.1.2.2. カテゴリーM2 > 3,500 kg(技術的許容積載時の質量)、M3、N2、N3の車両 Vehicles of categories M2 > 3,500 kg technically permissible maximum laden mass, M3, N2, N3					
目標条件 Target conditions	車両カテゴリ Vehicle categorie	#REF!		各騒音の大きさの結果 Result of each Noise level [dB]	暗騒音 Level of ambient noise
	目標車速又はエンジン回転数 Target vehicle speed or Engine speed	~			Lwot
テスト場の仕様 Specifications for	検定日 Test date	検定有効期限 Expiry date	Pass	Fail	L limit

ギヤのシフトダウンを抑制するための手段、または2.0m/s<sup>2</sup>を超える加速度値を回避するための手段を記載すること。

Write valid measures to control the downshift of gears or to avoid accelerations beyond 2.0 m/s<sup>2</sup>.

※別紙を用いても良い。

\*1: 変速段または変速比を入力し、モードがある場合はそのモードを入力すること。

Input the gear position or speed ratio, and if there is a mode, input enter that mode

測定条件 Situation	測定値 Measurements value						騒音の大きさ Noise level					
	車速 Vehicle speed [km/h]			エンジン回転数 Engine speed [min <sup>-1</sup> ]			測定値 Measured value		補正後の値 corrected value			
屋外 Outdoor	VAA'	VPP'	VBB'	nAA'	nPP'	nBB'	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right
Gear "1" 指定速度 Speed	1											
	2											
	3											
	4											
変速機 Gear <sup>-1</sup>												
走行の平均 Averag												
Gear "1" 指定速度 Speed	1											
	2											
	3											
	4											
変速機 Gear <sup>-1</sup>												
走行の平均 Averag												

排気管の付近での騒音の測定 Measuring of noise in proximity to the exhaust

回数 No.	目標エンジン回転数 Target engine speed [min <sup>-1</sup> ]	測定エンジン回転数 Measurement engine speed	騒音の大きさ Noise level (dB)		
			測定値 Measured value	最終結果値 Final result	
			左 Left	右 Right	
1		Pass · Fail			
2		Pass · Fail			( )
3		Pass · Fail			

附則5 圧縮空気の騒音

Annex5 Compressed air noise

1. 測定方法 測定は、車両が停止した状態で、図1に従って、マイクロホン位置2および6で行う。圧力調整器のエア吐出中ならびに主制動装置と駐車制動装置の両方を使った後の排出時における最大A特性音圧レベルを記録する。圧力調整器のエア吐出中の騒音は、アイドリング時のエンジン回転数で測定する。主制動装置および駐車制動装置の騒音測定を行う前には、エアコンプレッサユニットは最大許容作動圧まで高め、次にエンジンのスイッチを切り、各制動装置が作動しているときに記録する。	YES N/A
Method of measurement The measurement is performed at microphone positions 2 and 6 according to Figure 1, with the vehicle stationary. The highest A-weighted noise sound level is registered during venting the pressure regulator and during ventilating after the use of both the service and parking brakes. The noise during venting the pressure regulator is measured with the engine at idling speed. The ventilating noise is registered while operating the service and parking brakes: before each measurement, the air-compressor unit has to be brought up to the highest permissible operating pressure, and then the engine switched off.	
2. 結果の評価 全てのマイクロホン位置について、2回の測定を行う。測定装置による誤差を補正するために、騒音計の読み値は1dB(A)引き下げ、この値を測定結果とする。この結果は、1つのマイクロホン位置における各測定の相違差が2dB(A)以下のときに有効とする。測定された最大値を結果として記録する。もしこの値が音量規制値を1dB(A)を超えて上回っている場合、対応するマイクロホン位置でさらに2回の測定を行うものとする。この場合、この位置で得られた4回の測定結果のうち3回が音量規制値に適合しなければならない。	
Evaluation of the results For all microphone positions two measurements are taken. In order to compensate for inaccuracies of the measuring equipment, the meter reading is reduced by 1 dB(A), and the reduced value is taken as the result of measurement. The results are taken as valid if the difference between the measurements at one microphone position does not exceed 2 dB(A). The highest value measured is taken as the result. If this value exceeds the sound limit by 1 dB(A), two additional measurements are to be taken at the corresponding microphone position. In this case, three out of the four results of measurement obtained at this position have to comply with the sound limit.	
3. 規制値 Limiting value 音量レベルは72dB(A)の規制値を超えないものとする。 The sound level shall not exceed the limit of 72 dB(A).  下段は1dB値	測定結果 Results
	主制動装置 Service brakes
	駐車制動装置 Parking brakes
	圧力調整器 Pressure regulator
	左 Left 右 Right
1	
2	
3	
4	

附則8 屋内テスト

Annex8 Indoor testing

1. 屋内テストによる申請に関する提出書面 Documentation for indoor application	※ 附則8を参照すること。 Refer to Annex8.	Pass Fail
---	-----------------------------------	-----------

番号： \_\_\_\_\_

4. 試験成績

Test results

<p>附則4 繊維性吸音材料を含む排気消音システム Annex4 Silencing systems containing acoustically absorbing fibrous materials</p>	<p>Yes · N/A</p>
<p>1. 一般要件</p> <p>以下の場合に限り、繊維性吸音材料を消音システム又はその構成部品に使用することができる。 (a) 排気ガスが当該繊維性材料と直接触れない、又は (b) 消音システムまたは構成部品が、本規則の要件に従った型式認可で劣化しにくいことが証明されている別の型式車両のシステム又は 構成部品と、同じ設計思想(概念)の場合。 これらの条件の一つが満たされない場合に限り、消音システムの全体またはその構成部品は、以下に記載されている三つの試験の一つを用いて、決められた条件に適合させなければならない。</p> <p>General Sound absorbing fibrous materials may be used in silencing systems or components thereof only if (a) The exhaust gas is not in contact with the fibrous materials; or if (b) The silencing system or components thereof are of the same design family as systems or components for which it has been proven, in the course of type approval process in accordance with the requirements of this regulation for another vehicle-type, that they are not subject to Unless one of these conditions is fulfilled, the complete silencing system or components thereof shall be submitted to a conventional conditioning using one of three installations and procedures described below.</p>	<p>Yes · No</p>
<p>1.1. 10,000kmの連続道路走行 Continuous road operation for 10,000 km</p>	<p>Yes · N/A</p>
<p>1.1.1. 走行の50±20%は市街地走行とし、残りの走行は高速での長距離走行としなければならない。 この試験は、対応する試験走行路での試験に代えることができる。 50 ± 20 per cent of this operation shall consist of urban driving and the remaining operation shall be long distance runs at high speed; continuous road operation may be replaced by a corresponding test-track programme.</p> <p>1.1.2. この2種類の速度域（高速走行及び市街地走行）の試験は、少なくとも2回は、交互に行なわなければならない。 The two speed regimes shall be alternated at least twice.</p> <p>1.1.3. 冷却の効果と、それにより生じる可能性のある結露を再現するために、試験は、少なくとも3時間の停止を最低10回含むものとする。 The complete test programme shall include a minimum of 10 breaks of at least three hours duration in order to reproduce the effects of cooling and any condensation which may occur.</p>	<p>Pass · Fail Pass · Fail Pass · Fail</p>
<p>1.2. 台上試験でのコンディショニング Conditioning on a test bench</p>	<p>Yes · N/A</p>
<p>1.2.1. 標準部品を使い、自動車製作者等の指示に従って、消音システム又はその構成部品を、本規則の3.3で言及した車両又は本規則の3.4で言及した原動機に取り付けなければならない。前者の場合は、車両をローラーダイナモメーターに取り付け、後者の場合は、エンジン原動機をダイナモメーターに接続するものとする。 Using standard parts and observing the vehicle manufacturer's instructions, the silencing system or components there of shall be fitted to the vehicle referred to in paragraph 3.3. of this Regulation or the engine referred to in paragraph 3.4. of this Regulation. In the former case the vehicle shall be mounted on a roller dynamometer. In the second case, the engine shall be coupled to a dynamometer.</p> <p>1.2.2. 冷却の効果と、それによって生じる可能性のある結露を再現するために、6時間の試験を6回実施し、その各試験の間には少なくとも12時間の機関停止を行うものとする。 The test shall be conducted in six six-hour periods with a break of at least 12 hours between each period in order to reproduce the effects of cooling any condensation which may occur.</p> <p>1.2.3. 6時間の試験では、原動機を下記の条件で運転するものとする： (a) アイドリング回転数で5分間 (b) 定格エンジン最大回転数 (S) の3/4で、1/4の負荷で連続1時間 (c) 定格エンジン最大回転数速度 (S) の3/4で、1/2の負荷で連続1時間 (d) 定格エンジン最大回転数速度 (S) の3/4で、全負荷で連続10分間 (e) 定格エンジン最大回転数速度 (S) で、1/2の負荷で連続15分間 (f) 定格エンジン最大回転数速度 (S) で、1/4の負荷で連続30分間 6時間の試験は、(a) から (f) の順番に従って、連続した2回で実施する。 During each six-hour period, the engine shall be run, under the following conditions: (a) Five minutes at idling speed; (b) One-hour sequence under 1/4 load at 3/4 of rated maximum speed (S); (c) One-hour sequence under 1/2 load at 3/4 of rated maximum speed (S); (d) 10-minute sequence under full load at 3/4 of rated maximum speed (S); (e) 15-minute sequence under 1/2 load at rated maximum speed (S); (f) 30-minute sequence under 1/4 load at rated maximum speed (S). Each period shall comprise two sequenced sets of the six above-mentioned conditions in consecutive order from (a) to (f).</p>	<p>Pass · Fail Pass · Fail Pass · Fail</p>

番号： \_\_\_\_\_

4. 試験成績  
Test results

附則4 繊維性吸音材料を含む排気消音システム Annex 4 Silencing systems containing acoustically absorbing fibrous materials		
1.2.4.	<p>試験中、消音システムまたはその構成部品は、車両周囲の通常気流を再現するための送風で冷却しないものとする。</p> <p>ただし、メーカー車製作者等の申請があれば、当該システム又は構成部品の先端部分で、車両が最高速度で走行しているときに記録した温度を超えないようにするために、消音システムまたはその構成部品を冷却してもよい。</p> <p>During the test, the silencing system or components thereof shall not be cooled by a forced draught simulating normal airflow around the vehicle. Nevertheless, at the request of the manufacturer, the silencing system or components thereof may be cooled in order not to exceed the temperature recorded at its inlet when the vehicle is running at maximum speed.</p>	Pass · Fail
1.3. パルセーションによる試験コンディショニング Conditioning by pulsation		Yes · N/A
1.3.1.	<p>消音システム又はその構成部品を、本規則の3.3で言及した車両又は本規則の3.4に言及した原動機に取り付けるものとする。前者の場合は、車両をローラーダイナモメーターに取り付けなければならない。後者の場合は、原動機をダイナモメーターに取り付けなければならない。試験装置（詳細図は、本附則付録図3）は、消音システムの排気口に取り付けなければならない。また、同等の結果を得ることができる試験装置でも試験可とする。</p> <p>The silencing system or components thereof shall be fitted to the vehicle referred to in paragraph 3.3. of this Regulation or the engine referred to in paragraph 3.4. of this Regulation. In the former case the vehicle shall be mounted on a roller dynamometer. In the second case, the engine shall be mounted on a dynamometer. The test apparatus, a detailed diagram of which is shown in Figure 1 of the appendix to this annex shall be fitted at the outlet of the silencing system. Any other apparatus providing equivalent results is acceptable.</p>	Pass · Fail
1.3.2.	<p>試験装置は、急動バルブによる排気ガス流の遮断と解放を2,500回繰り返すように、調整されているものとする。</p> <p>The test apparatus shall be adjusted in such a way that the exhaust gas flow is alternatively interrupted and re-established by the quick-action valve for 2,500 cycles.</p>	Pass · Fail
1.3.3.	<p>排気ガスの背圧が（試験装置の）インテークフランジの少なくとも100mm下流で35kPaから40kPaの値に達した時に、バルブは開くものとする。バルブが開放状態のまま安定した圧力となる時に計測される値の10%以下の圧力となった時に、バルブは閉じるものとする。</p> <p>The valve shall open when the exhaust gas back pressure, measured at least 100 mm downstream of the intake flange, reaches a value of between 35 and 40 kPa. It shall close when this pressure does not differ by more than 10 per cent from its stabilized value with the valve open.</p>	Pass · Fail
1.3.4.	<p>タイム・デレイヤー・スイッチは、上記1.3.3に定めた規定の結果で生じるガス排出の時間に合わせて設定しなければならない。</p> <p>The time-delay switch shall be set for the duration of gas exhaust resulting from the provisions laid down in paragraph 1.3.3. above.</p>	Pass · Fail
1.3.5.	<p>エンジン回転数速度は、原動機出力が最大となる回転数速度(S)の75%とする。</p> <p>Engine speed shall be 75 per cent of the rated engine speed (S) at which the engine develops rated maximum net power.</p>	
1.3.6.	<p>ダイナモメーターが示す出力は、原動機回転数(S)の75%のエンジン回転数で原動機を全加速状態で運転した時に測定した原動機出力の50%とする。</p> <p>The power indicated by the dynamometer shall be 50 per cent of the full-throttle power measured at 75 per cent of rated engine speed (S).</p>	Pass · Fail
1.3.7.	<p>試験中はすべての排水穴を閉じるものとする。</p> <p>Any drain holes shall be closed off during the test.</p>	Pass · Fail
1.3.3.	<p>全ての試験を48時間以内に完了するものとする。必要であれば、1時間ごとに1回の冷却期間を設ける。</p> <p>The entire test shall be completed within 48 hours. If necessary, one cooling period will be observed after each hour.</p>	Pass · Fail

番号： \_\_\_\_\_

4. 試験成績

Test results

附則7 音の発生に関する追加規定 (ASEP)

\*1: 変速段または変速比を入力し、モードがある場合はそのモードを入力すること。

Annex7 Additional Sound Emission Provisions (ASEP)

Input the gear position or speed ratio, and if there is a mode, input enter that mode.

ASEP 制御範囲 ASEP control range	$V_{AA} \geq 20\text{km/h}$ $a_{wot} \leq 5.0\text{m/s}^2$	$n_{BB} \leq 2.0 \times \text{PMR}^{0.22} \times S = \underline{\hspace{2cm}}$ $V_{BB} \leq 70\text{km/h}$	or $n_{BB} \leq 0.9 \times S = \underline{\hspace{2cm}}$ *Two gear select at 80km/h
---------------------------------	---	---	--

3. スロープ法 Slope method

Yes / N/A

測定条件 Situation				測定値 Measurements value									騒音の大きさ Noise level				
No.	変速段 Gear *1	車速 vehicle speed [km/h]	エンジン回転数 Engine speed [min <sup>-1</sup> ]	車速 Vehicle speed [km/h]			エンジン回転数 Engine speed [min <sup>-1</sup> ]			加速度 Acceleration [m/s <sup>2</sup> ]			測定値 Measured value		補正後の値 corrected value		Lwot
				VAA'	VPP'	VBB'	nAA'	nPP'	nBB'	a <sub>wot_test</sub>	a <sub>wot_test</sub> PP'-BB'	a <sub>wot_test</sub> Stable ≤ 1.2	左 Left	右 Right	左 Left	右 Right	
Anchor (i)																	
Anchor (i+1)																	
P1																	
P2																	
P3																	
P4																	
P1																	
P2																	
P3																	
P4																	
P1																	
P2																	
P3																	
P4																	
P1																	
P2																	
P3																	
P4																	
P1																	

3.5. 仕様 Specifications	<p>規定した各測定点の音圧レベルは以下に示す限度(LASEP_kappa.j + x)を超えないものとする。                  変速比が固定されない状態で測定された車両: x = 3 dB(A) + 規制値・Lurban                  変速比が固定された状態で測定された車両: x = 2 dB(A) + 規制値 - Lurban                  The sound level of every specified measurement point shall not exceed the limits given below:  <math>L_{kappa.j} \leq L_{ASEP\_kappa.j} + x</math>  <math>x = 2 \text{ dB(A)} + \text{limit value3} \cdot L_{urban}</math> for vehicles tested with locked transmission conditions  <math>x = 3 \text{ dB(A)} + \text{limit value3} \cdot L_{urban}</math> for vehicle tested with non-locked transmission conditions</p>	Pass · Fail
------------------------	---	-------------

4. Lurban評価 Analysis method / Lurban Assessment

4.2. Lurban_ASEPの計算 Calculation of Lurban_ASEP		
4.2.1. データ処理方法 Data-processing		
(a) a_wot_test_ASEP	* From paragraph 3.1.2.1.2.1. or 3.1.2.1.2.2. of Annex 3	(a) _____
(b) Determine the vehicle speed (vBB_ASEP) at BB during the Lwot_ASEP test;	* See vBB' at Lwot_ASEP	(b) _____
(c) Calculate kP_ASEP	$kP_{ASEP} = 1 - (a_{urban} / a_{wot\_test\_ASEP})$	(c) _____
(d) Calculate Lurban_measured_ASEP	$L_{urban\_measured\_ASEP} = L_{wot\_ASEP} - kP_{ASEP} * (L_{wot\_ASEP} - L_{crs\_rep})$	(d) _____
(e) Calculate Lurban_normalized to normalize the speed from vBB_ASEP to 50 km/h	$L_{urban\_normalized} = L_{urban\_measured\_ASEP} - (0.15 * (V_{BB\_ASEP} - 50))$	(e) _____
(f) Calculate the deviation ΔLurban_ASEP relative to Lurban	$\Delta L_{urban\_ASEP} = L_{urban\_normalized} - L_{urban}$	(f) _____

4.2.2. 仕様 Specifications	<p>ΔLurban_ASEPは3.0 dB(A) + 規制値・Lurban以下であること。                  ΔLurban_ASEP shall be less than or equal to 3.0 dB(A) + limit value4 · Lurban</p>	Pass · Fail
--------------------------	---	-------------

番号： \_\_\_\_\_

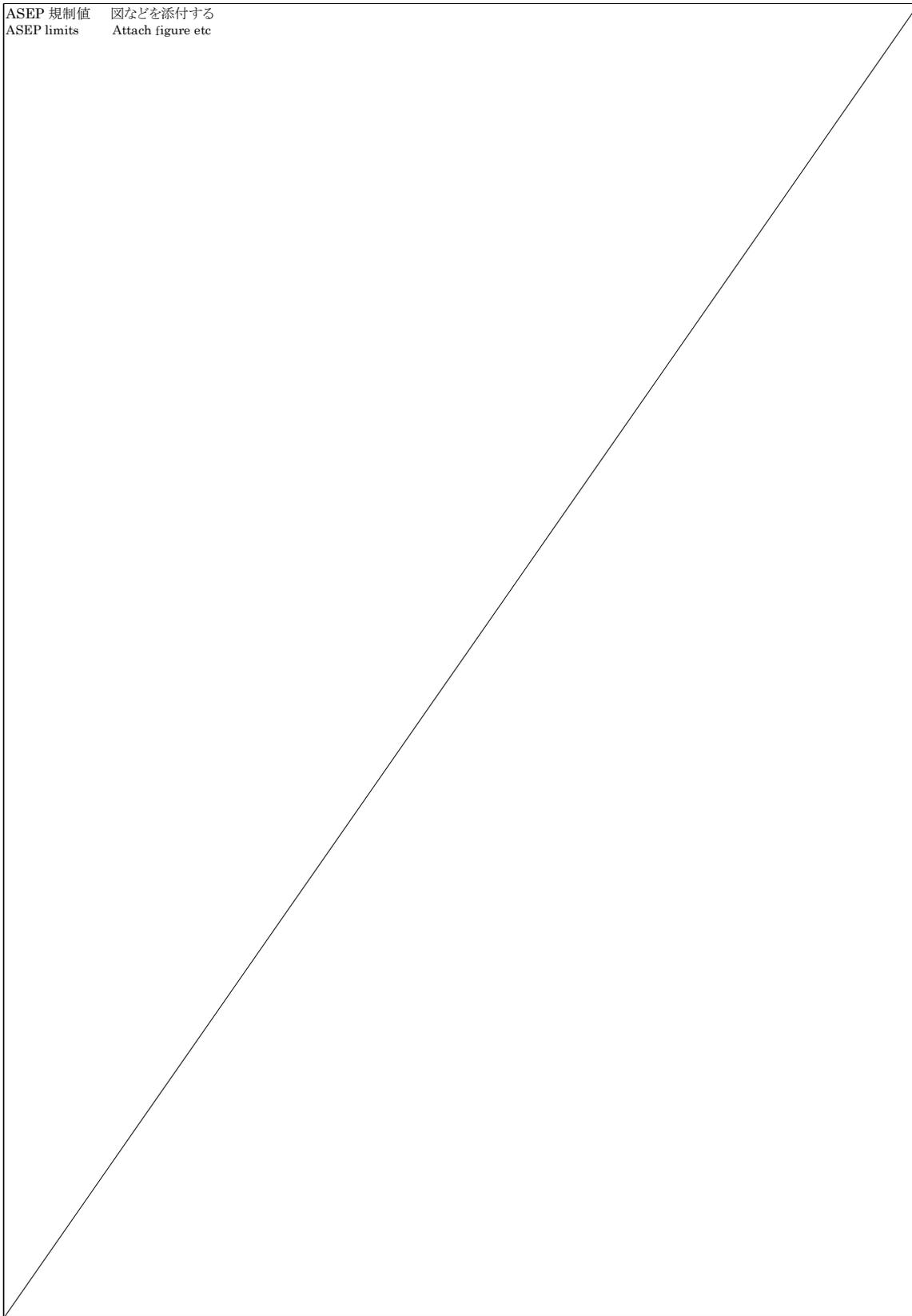
4. 試験成績

Test results

附則7 音の発生に関する追加規定 (ASEP)

Annex7 Additional Sound Emission Provisions (ASEP)

ASEP 規制値 図などを添付する  
ASEP limits Attach figure etc



番号： \_\_\_\_\_

4. 試験成績

Test results

附則7 音の発生に関する追加規定 (ASEP)

Annex7 Additional Sound Emission Provisions (ASEP)

ASEP 制御範囲		$V_{AA} \geq 50\text{km/h}$													
ASEP control range		$n_{ref,K} \cdot V_{BB} \leq 61\text{km/h}$													
5. 基準音量評価															Pass · Fail
Reference sound assessment															
直接測定法		*1: 変速段または変速比を入力し、モードがある場合はそのモードを入力すること。													Yes · N/A
Direct measurement method		Input the gear position or speed ratio, and if there is a mode, input enter that mode.													
シミュレーション法															Yes · N/A
Simulation method															
測定条件				測定値						騒音の大きさ					Lwot
Situation				Measurements value						Noise level					
No.	変速段*1 Gear*1	車速 vehicle speed [km/h]	エンジン回転数 Engine speed [min <sup>-1</sup> ]	車速			エンジン回転数			測定値		補正後の値			
				VAA'	VPP'	VBB'	nAA'	nPP'	nBB'	左	右	左	右		
Lrefの計算Calculation of Lref										計算結果					
Lref = Lanchor + Slope α * (nBB'_ref · nanchor) / 1,000										Result of calculation Lref					_____
5.4. 仕様															
Specifications															
カテゴリーM1の車輛について、Lrefは76 dB(A)以下とするものとする。 For vehicles of category M1, Lref shall be less than or equal to 76 dB(A).															Pass · Fail
カテゴリーM1の車輛で前進変速段が5速以上の手動変速機を備え、最大出力が140kW(協定規則第85号による)を超える原動機を装備し、かつ最大出力/最大質量の比が75kW/tを超える車両について、Lrefは79dB(A)以下となるものとする。 For vehicles of category M1 fitted with a manual transmission gear box having more than four forward gears and equipped with an engine developing a rated maximum net power greater than 140 kW (according to Regulation No. 85) and having a maximum-power/maximum-mass ratio greater than 75, Lref shall be less than or equal to 79 dB(A).															Pass · Fail
カテゴリーM1の車輛で前進変速段が5速以上の自動変速機を備え、最大出力が140 kW(協定規則第85号による)を超える原動機を装備し、かつ最大出力/最大質量の比が75kW/tを超える車両について、Lrefは78dB(A)以下となるものとする。 For vehicles of category M1 fitted with an automatic transmission gear box having more than four forward gears and equipped with an engine developing a rated maximum net power greater than 140 kW (according to Regulation No. 85) and having a maximum-power/maximum-mass ratio greater than 75, Lref shall be less than or equal to 78 dB(A).															Pass · Fail
カテゴリーN1の車輛で2,000kg以下(技術的最大許容積載質量)について、Lrefは78dB(A)以下となるものとする。 For vehicles of category N1 with a technically permissible maximum laden mass below 2,000 kg, Lref shall be less than or equal to 78 dB(A).															Pass · Fail
カテゴリーN1の車輛で2,000kg超3,500kg以下(技術的最大許容積載質量)について、Lrefは79dB(A)以下となるものとする。 For vehicles of category N1 with a technically permissible maximum laden mass above 2,000 kg and below 3,500 kg, Lref shall be less than or equal to 79 dB(A).															Pass · Fail
カテゴリーM1及びN1の車輛で圧縮点火装置および直接噴射式内燃機関を装備したものは騒音レベルを1dB(A)引き上げるものとする。 For vehicles of category M1 and N1 equipped with a compression-ignition and direct injection internal combustion engine, the sound level shall be increased by 1 dB(A).															Yes · N/A
カテゴリーM1及びN1の車輛でオフロード用に設計された2,000kg超(技術的最大許容積載質量)は、最高出力150kW未満(ネット)(R85による)のエンジンを装備したものは騒音レベルを1dB(A)引き上げるものとする。最高出力150kW以上(ネット)(R85による)のエンジンを装備したものは騒音レベルを2dB(A)引き上げるものとする。 For vehicles of category M1 and N1 designed for off-road use and with a technically permissible maximum laden mass above 2 tonnes, the sound level shall be increased by 1 dB(A) if they are equipped with an engine having a rated maximum net power of less than 150 kW (according to Regulation No. 85) or by 2 dB(A) if they are equipped with an engine having a rated maximum net power of 150 kW (according to Regulation No. 85) or above.															Yes · N/A

番号： \_\_\_\_\_

附則8 屋内テスト  
Annex8 Indoor testing

<p>1. 屋内テストによる申請に関する提出書面 Documentation for indoor application</p> <p>提出書面は下記を含むものとする</p> <p>(a)設備の妥当性。 (b)屋内テストで適用される手順。 (c)ダイナモメーター負荷係数の計算に使用したコーストダウンおよびタイヤ音レベルのデータ、ならびに最終報告結果の決定に使用したタイヤ音のデータ。 (d)屋内テストによって許容可能な精度の範囲内で屋外テストと同等の結果が得られることを証明するためにメーカーの生産車両から選ばれた代表的な車両に関するテスト結果。</p> <p>Documentation shall include:</p> <p>(a)Validation of facility, (b)Procedures to be applied for indoor testing, (c)Coast down and tyre sound level data used for calculation of dynamometer load coefficients and tyre sound data use for determination of final reported results. (d)Test results on a representative selection of the manufacturer's production to demonstrate that indoor testing delivers comparable results as outdoor testing within acceptable accuracy.</p>
<p>2. バリエーションAを用いて屋内でテストする車両</p> <p>屋内通過テストは、ダイナモメーター上でのパワートレイン音の測定およびタイヤ/路面音(屋外テスト走行路で個別に測定される)のエネルギー付加によって再現される。</p> <p>Vehicle tested indoor using Variant A Indoor pass-by test is simulated by measurement of power train sound on the dynamometer and energetical addition of the tyre/road sound (measured separately on an outdoor test track).</p>
<p>2.1. 概要</p> <p>本方法は、屋内テスト(パワートレイン音)と屋外テスト(タイヤ/路面音)を組み合わせたものである。車両をテストするたびにタイヤ/路面音の測定を繰り返す必要はない。いくつかのタイヤのデータをデータベースに保存することができ、次いで、当該データベース内の対応するデータセットをテストに使用することができる。</p> <p>General This method is a combination of indoor testing (power train sound) and outdoor testing (tyre/road sound). It is not necessary to repeat the measurement of the tyre/road sound every time a vehicle is tested. The data of several tyres can be stored in a database and a matching data set from the database can then be used for the test.</p> <p>2.2. パワートレイン音</p> <p>測定に影響を及ぼすタイヤ/路面音が残っていないことを確保するものとする。いずれの場合にも、残っているタイヤ/路面音はテスト対象車両から発せられる最大A特性音圧レベルよりも少なくとも10 dB 低いことを確保するものとする。この条件を満たせない場合には、補正を行うものとする。この補正手順は、ISO 362-3:2016、附属書B、B.6項に規定されている。</p> <p>Power train sound It shall be ensured that there is no remaining tyre/road sound affecting the measurements. In any case it shall be ensured that the remaining tyre/road sound shall be at least 10 dB below the maximum A-weighted sound pressure level produced by the vehicle under test. If this condition cannot be fulfilled, a correction shall be carried out. This correction procedure is described in ISO 362-3:2016 Annex B, paragraph B.6.</p> <p>2.3. タイヤ/路面音</p> <p>タイヤ/路面音の測定は、本規則、附則3の2.1.1項に規定されたテスト走行路で実施するものとする。タイヤ/路面音の評価は、2つの手順から成る。すなわち：</p> <p>(a)自由転がり音の評価、 (b)簡略化した方法によってa)から得られるトルクの影響を含む、タイヤ/路面音の評価。</p> <p>タイヤ/路面音の評価に関する条件はすべて、本附則の3項に従って実施するものとする。</p> <p>Tyre/road sound The measurements of the tyre/road sound shall be performed on a test track as described paragraph 2.1.1. of Annex 3 of this Regulation. The evaluation of tyre/road sound consists of two procedures, namely: (a)Evaluation of free rolling sound; (b)Evaluation of tyre/road sound including torque influence which can be derived from a) by a simplified method. All conditions for evaluation of tyre/road sound shall be done according to paragraph 3. of this Annex.</p> <p>2.4. 総車両音の計算</p> <p>総車両音は、タイヤ/路面音とパワートレイン音のエネルギーの和である。この計算は、ISO 362-3:2016の10.2.4項に規定されたとおり1回の走行ごとに実施するものとする。</p> <p>Calculation of the total vehicle sound The total vehicle sound is the energetical sum of tyre/road sound and power train sound. This calculation shall be carried out for each single run as describe in ISO 362-3:2016, paragraph 10.2.4.</p>
<p>3. バリエーションAを用いるときのタイヤ/路面音の測定、評価および計算手順</p> <p>タイヤ/路面音、自由転がり音およびトルクの影響の評価に関する条件はすべて、ISO 362-3:2016の附属書Bに規定されている。</p> <p>Procedure for measurement, evaluation, and calculation of tyre/road sound when using variant A All conditions for evaluation of tyre/road sound, free rolling sound, and torque influence are described in ISO 362-3:2016, Annex B.</p>
<p>4. テスト室寸法の調整</p> <p>より小さいサイズのテスト室に対応するためには、ISO 362-3:2016の附属書Eに従って最大レベルを、それらを除外しないように注意しながら、評価するものとする。</p> <p>Adjustment of room dimensions To cater for the smaller size test rooms, the maximum levels shall be evaluated with caution though to avoid missing them according to ISO 362-3:2016, Annex E."</p>

番号： \_\_\_\_\_

後付消音器の名称（型式） \_\_\_\_\_

添付資料（試験自動車の外観及び消音器の装着状況 1/3）



写真 1 車両外観（前面）

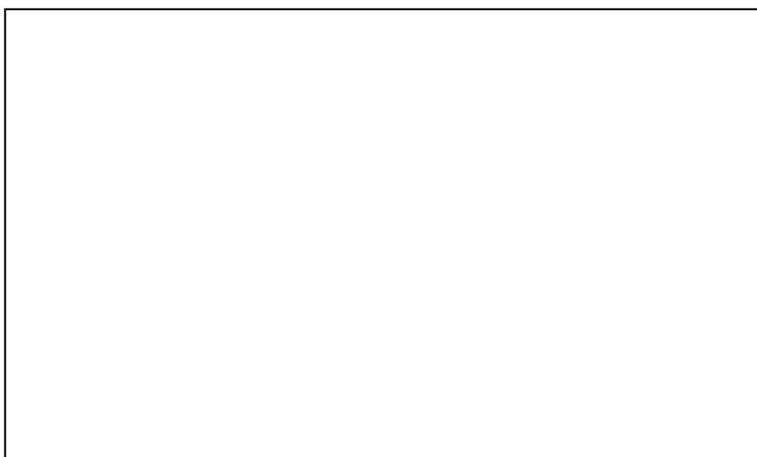


写真 2 車両外観（側面）



写真 3 車両外観（後面）

番号： \_\_\_\_\_

後付消音器の名称（型式） \_\_\_\_\_

添付資料（試験自動車の外観及び消音器の装着状況 2/3）



写真 4 原動機外観

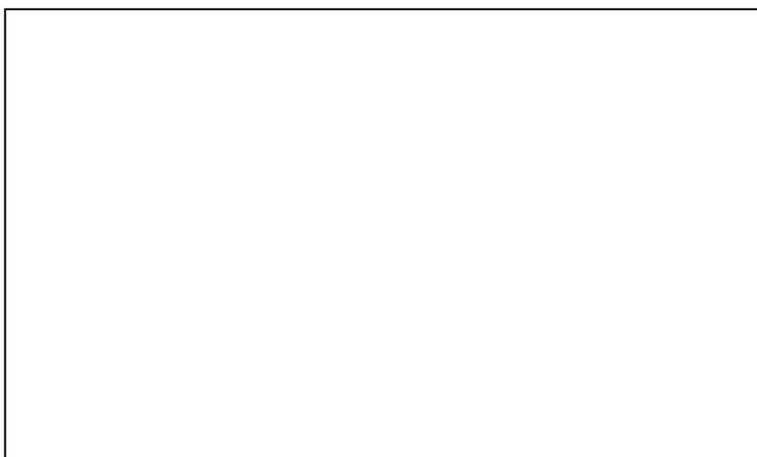


写真 5 消音器外観①



写真 6 消音器外観②

番号： \_\_\_\_\_

後付消音器の名称（型式） \_\_\_\_\_

添付資料（試験自動車の外観及び消音器の装着状況 3/3）

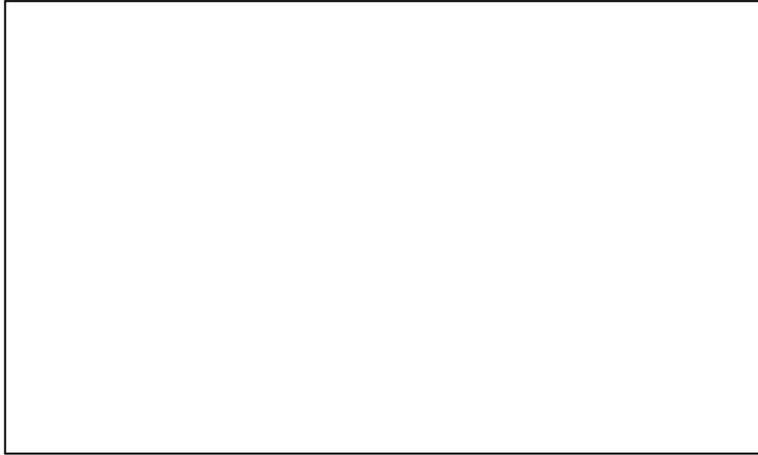


写真7 消音器外観③

第 11 号様式（性能等確認結果の再交付申請書）

性能等確認結果の再交付申請書  一般財団法人 日本自動車研究所 殿  <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>西暦</span> <span>年</span> <span>月</span> <span>日</span> </div> 確認申請者の氏名 又は名称 <span style="float: right;">印</span> 住所 電話番号 FAX 番号 電子メール	
性能等確認済表示の内容	
試験成績表又は確認結果の番号	
再交付を申請する理由	
備考	

（日本工業規格 A 列 4 番）

注） 確認申請者が法人の場合には、その名称及び代表者氏名を確認申請者の氏名又は名称欄に記載し、押印すること。

該当しない項目は「/」を記入又は抹消すること。